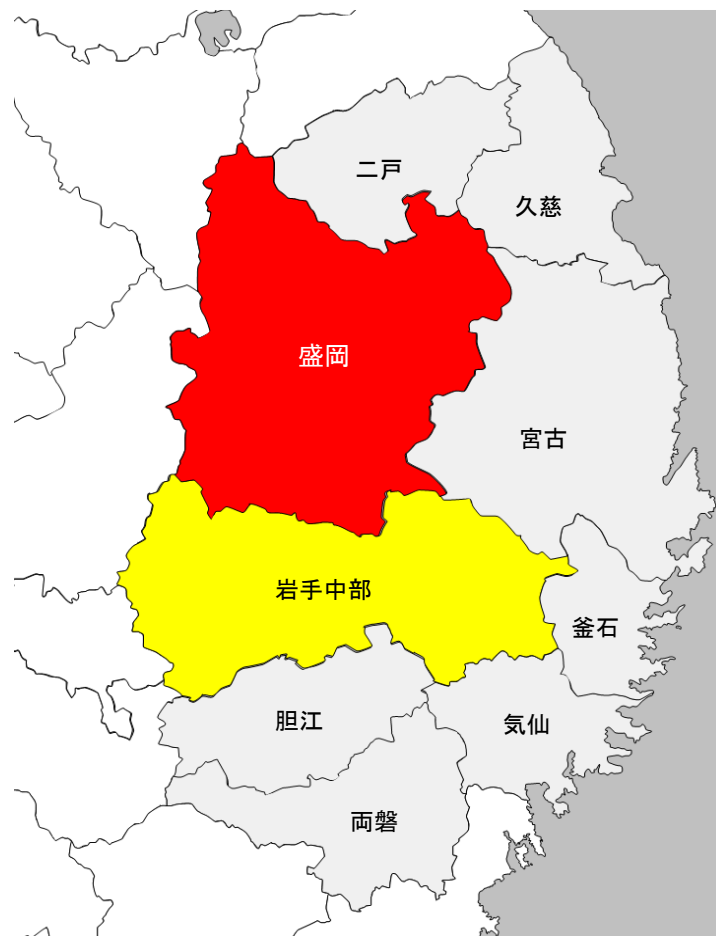


# 3. 岩手県

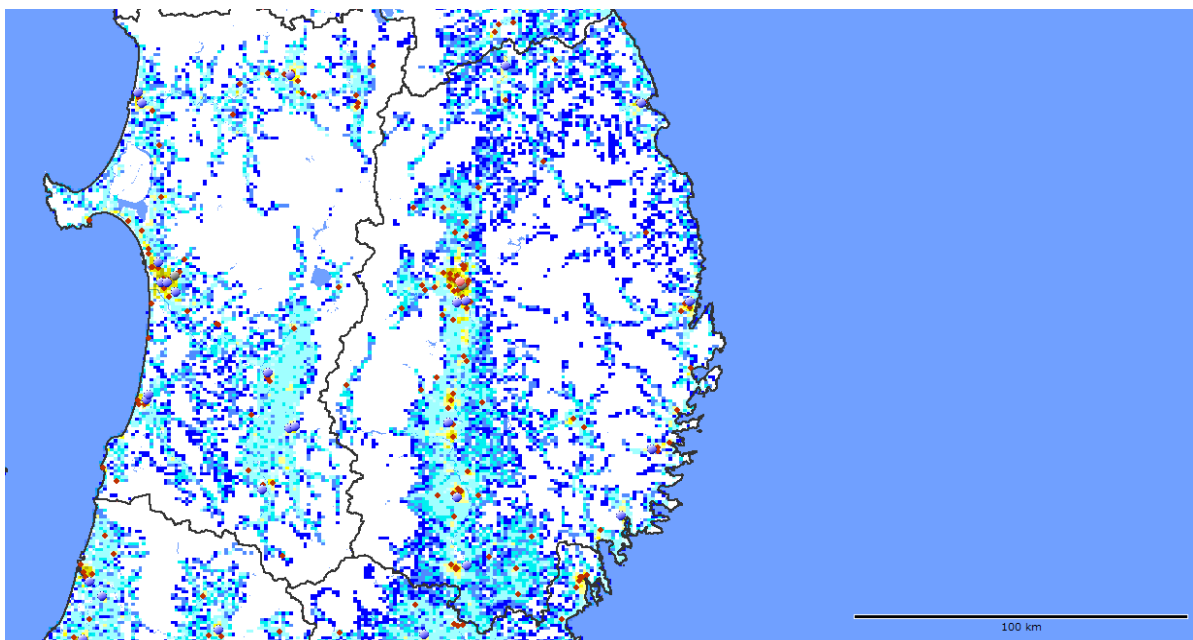


目次

岩手県	3 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	3 - 8
1. 盛岡医療圏	3 - 26
2. 岩手中部医療圏	3 - 31
3. 胆江医療圏	3 - 36
4. 両磐医療圏	3 - 41
5. 気仙医療圏	3 - 46
6. 釜石医療圏	3 - 51
7. 宮古医療圏	3 - 56
8. 久慈医療圏	3 - 61
9. 二戸医療圏	3 - 66

# 3. 岩手県

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



## (岩手県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 岩手県は、総人口約1280千人(2015年)、面積15275km<sup>2</sup>、人口密度は84人/km<sup>2</sup>である。

**\*人口の将来予測：** 岩手県の総人口は2025年に1140千人へと減少し(2015年比-11%)、2040年に938千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の207千人が、2025年にかけて234千人へと増加し(2015年比+13%)、2040年には234千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 岩手県の一人当たり医療費(国保)は357千円(偏差値53)、介護給付費は276千円(偏差値57)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 岩手県の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.29、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.88で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が46(病院医師数48、診療所医師数43)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は52と全国平均レベルである。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床数はやや多い。全身麻酔数の偏差値は50と全国平均レベルである。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は45で診療所数はやや少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 岩手県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、19754人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が14618床(偏差値57)、高齢者住宅等が5136床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、16724人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設61、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム38、軽費ホーム56、グループホーム48、サ高住43である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値40と少なく、在宅療養支援病院は偏差値43と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、2381人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

**\*介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-7%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

岩手県の総人口は、2005年1385041人が、2015年に1279594人と8%減少し、2025年の人口が1139825人と予測され、2005年→2025年の間に18%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

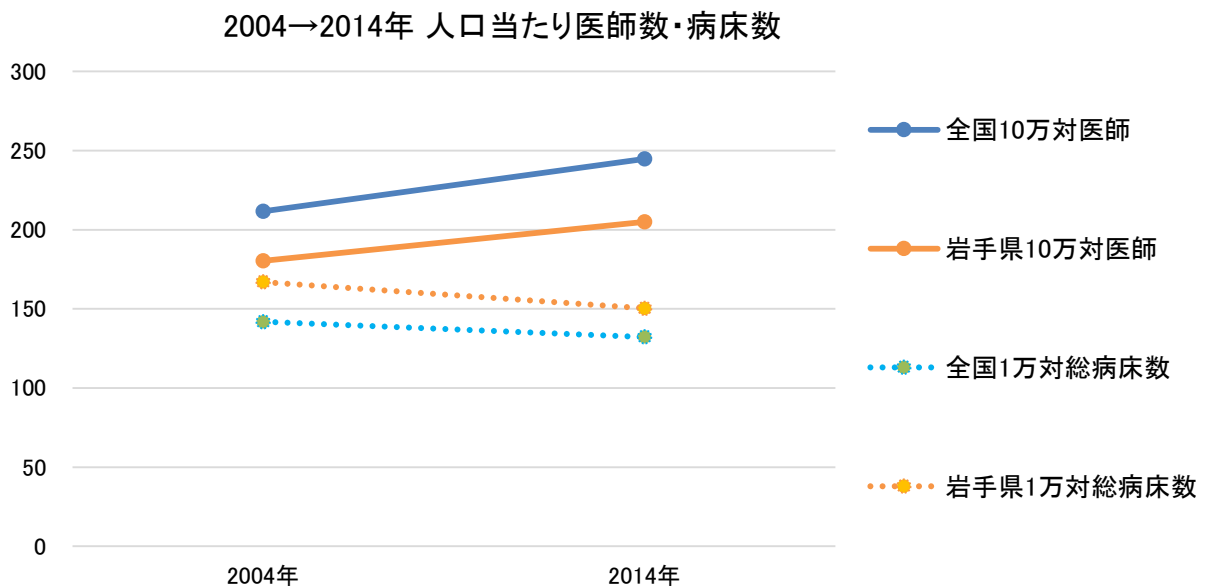
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が108(人口10万人当たり7.8病院(全国平均7.1)偏差値52)であったが、2014年に91(人口10万人当たり7.1病院(全国平均6.7)偏差値51)となり、10年間で17病院が減少した。

2004年の診療所数が914(人口10万人当たり66診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2014年に902(人口10万人当たり70診療所(全国平均79)偏差値45)と、12診療所が減少した。

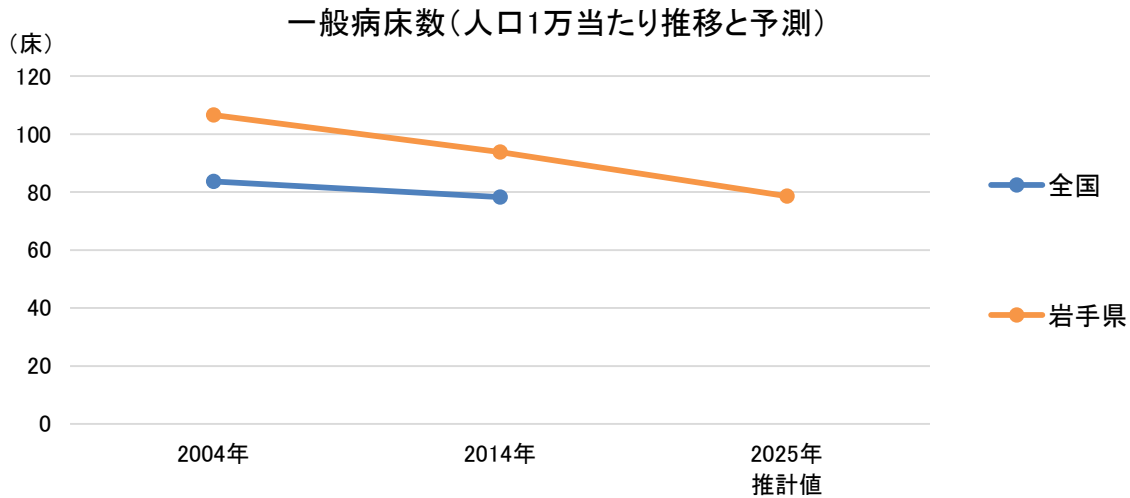
2004年の総病床数が23126床(人口1万人当たり167(全国平均142)偏差値54)であったが、2014年に19232床(人口1万人当たり150(全国平均132)偏差値53)と、3894床の減少、率にして17%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が2499人(人口10万人当たり180人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に2622人(人口10万人当たり205人(全国平均245人)偏差値46)と、123人の増加、率にして5%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



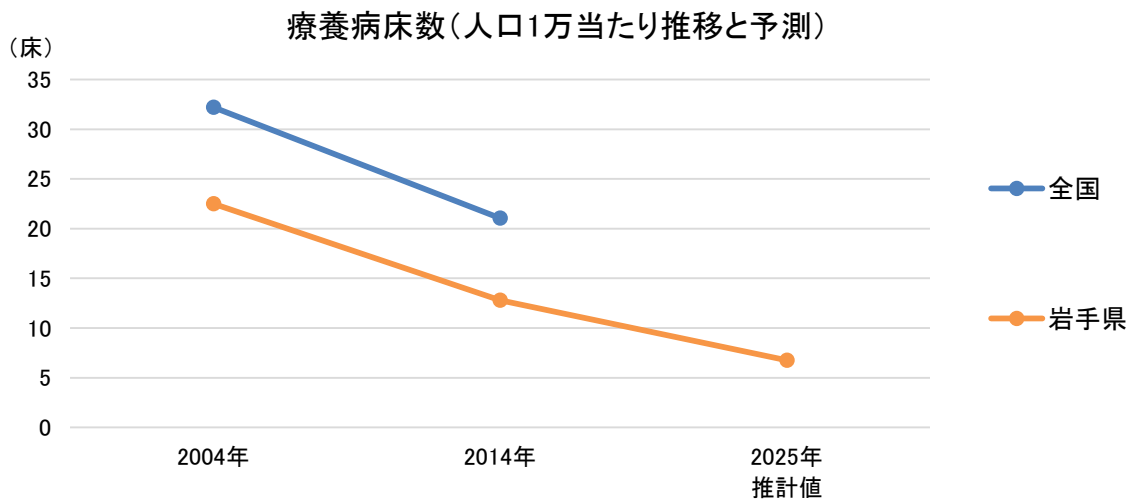
**【一般病床の推移と今後の予測】**

2004年の一般病床(病院+診療所)が14758床(人口1万人当たり107(全国平均84)偏差値58)であったが、2014年に11998床(人口1万人当たり94(全国平均78)偏差値56)と、2760床の減少、率にして19%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には8962床(2025年の推計人口1万人当たり79)になることが予想される。



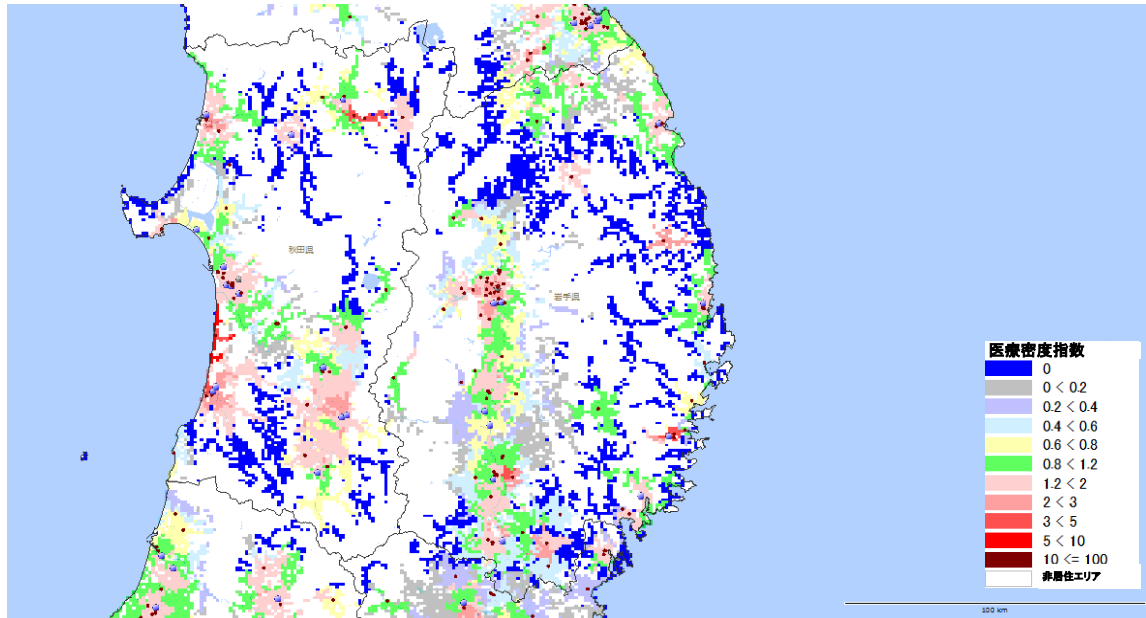
**【療養病床の推移と今後の予測】**

2004年の療養病床(病院+診療所)が3622床(75歳以上1000人当たり23(全国平均32)偏差値44)であったが、2014年に2651床(75歳以上1000人当たり13(全国平均21)偏差値43)と、971床の減少、率にして27%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1584床(2025年の推計75歳以上1000人当たり7)になることが予想される。



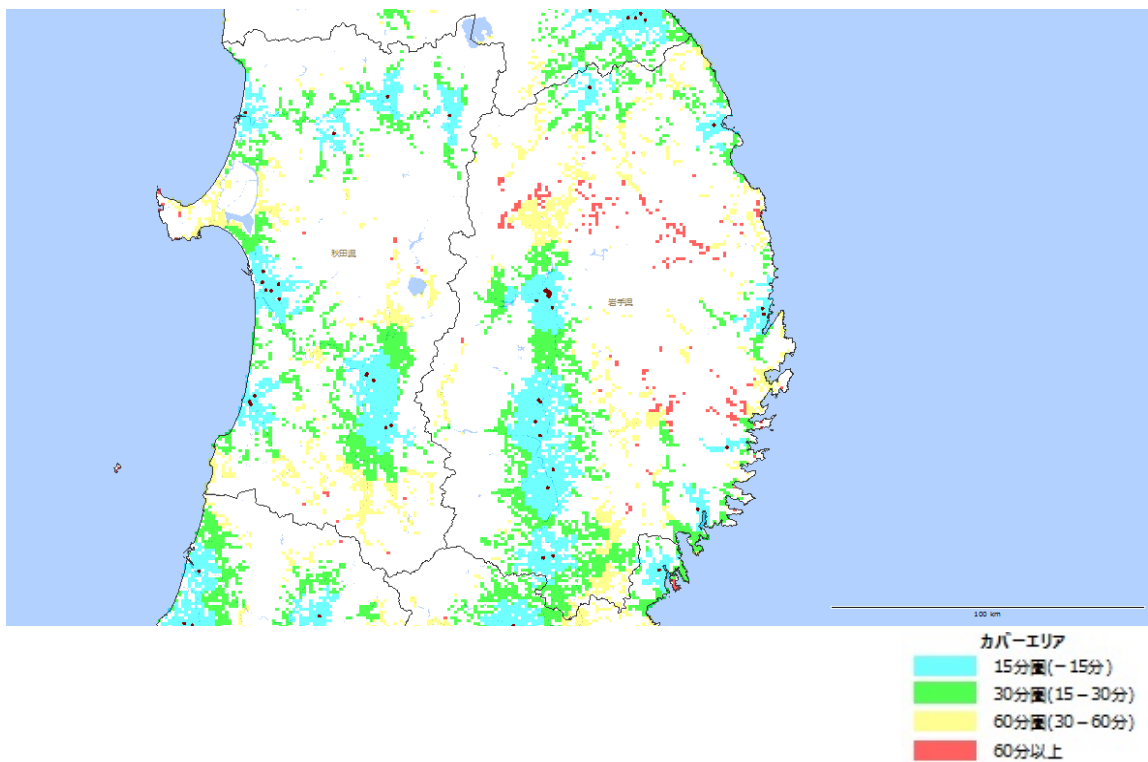
(岩手県) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表3-1 急性期医療密度指数マップ



図表3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



3.岩手県(2017年版)

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料<sup>6</sup>

※2017年版では、人口に関わる指標（偏差値等）については、2015年人口に基づいた計算を行っている。

資\_図表 3-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		26%	120,700	107,439	16,126	21,775	22,232	-5%	-11%	35%	2%
岩手県	1,280	32位	15,275	2位	83.8		30%	1,140	938	207	234	234	-11%	-18%	13%	0%
盛岡	477	37%	3,642	24%	130.9	地方都市型	26%	442	382	62	79	88	-7%	-14%	27%	11%
岩手中部	225	18%	2,763	18%	81.5	地方都市型	30%	202	169	37	40	39	-10%	-16%	8%	-3%
胆江	135	11%	1,173	8%	115.4	過疎地域型	32%	121	100	24	25	25	-10%	-17%	4%	0%
両磐	129	10%	1,320	9%	98.1	過疎地域型	33%	111	88	25	25	24	-14%	-21%	0%	-4%
気仙	64	5%	889	6%	71.4	過疎地域型	35%	54	41	12	14	13	-16%	-24%	17%	-7%
釜石	49	4%	641	4%	75.8	過疎地域型	35%	40	29	9	10	8	-18%	-28%	11%	-20%
宮古	86	7%	2,671	17%	32.1	過疎地域型	35%	72	53	16	18	15	-16%	-26%	13%	-17%
久慈	59	5%	1,077	7%	55.0	過疎地域型	32%	51	39	10	11	11	-14%	-24%	10%	0%
二戸	56	4%	1,100	7%	50.6	過疎地域型	35%	48	36	11	11	11	-14%	-25%	0%	0%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月1日															

資\_図表 3-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,456,851	1,772,098	-21.6%
岩手県	1.29	0.88	17,807	19,065	-7.1%
盛岡	1.83	1.19	5,771	6,462	-12.0%
岩手中部	0.86	0.49	3,157	3,269	-3.5%
胆江	1.08	1.07	1,753	2,061	-17.6%
両磐	1.07	0.54	2,239	2,039	8.9%
気仙	1.03	0.23	967	1,138	-17.7%
釜石	1.73	0.75	767	817	-6.5%
宮古	0.86	1.04	1,195	1,443	-20.8%
久慈	0.58	0.41	942	902	4.2%
二戸	0.94	0.39	1,016	934	8.1%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				



資\_図表 3-3 医療費、介護給付費<sup>7</sup>

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	343	(44)	1.000	131	(30)	1.000	188	(19)	1.000	253	(35)
岩手県	357	53	0.990	138	52	1.008	195	54	0.982	276	57
盛岡	369	56	1.026	138	53	1.011	203	58	1.030	277	57
岩手中部	348	51	0.931	128	49	0.895	196	54	0.957	276	57
胆江	333	48	0.902	120	46	0.851	187	49	0.926	247	49
両磐	331	47	0.898	129	50	0.918	181	46	0.895	286	59
気仙	379	58	1.019	145	55	1.019	210	62	1.028	276	57
釜石	434	71	1.134	187	69	1.278	220	67	1.048	268	54
宮古	392	61	1.065	167	62	1.185	203	58	1.009	285	59
久慈	328	46	0.961	139	53	1.069	168	39	0.900	271	55
二戸	320	45	0.893	127	49	0.926	173	42	0.884	297	62
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成27年度介護保険事業状況報告(年報) 平成27年度累計(平成27年3月サービス分から平成28年2月サービス分まで)										

※後期高齢者の医療費については、資\_図表03-35を参照。

資\_図表 3-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,480		6.7	(4.1)	100,995		79	(18.8)
岩手県	91	1.1%	7.1	51	904	0.9%	71	45
盛岡	39	43%	8.2	54	366	40%	77	49
岩手中部	13	14%	5.8	48	168	19%	75	47
胆江	9	10%	6.7	50	100	11%	74	47
両磐	10	11%	7.7	53	85	9%	66	43
気仙	3	3%	4.7	45	40	4%	63	41
釜石	5	5%	10.3	59	29	3%	60	39
宮古	5	5%	5.8	48	49	5%	57	38
久慈	4	4%	6.7	50	32	4%	54	36
二戸	3	3%	5.4	47	35	4%	63	41
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

3.岩手県(2017年版)

資\_図表 3-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,995		79	(18.8)	93,034		73	(18.4)	7,961		6.3	(6.4)
岩手県	904	0.9%	71	45	787	0.8%	62	44	117	1.5%	9.1	55
盛岡	366	40%	77	49	317	40%	66	46	49	42%	10.3	56
岩手中部	168	19%	75	47	148	19%	66	46	20	17%	8.9	54
胆江	100	11%	74	47	85	11%	63	44	15	13%	11.1	58
両磐	85	9%	66	43	77	10%	59	43	8	7%	6.2	50
気仙	40	4%	63	41	35	4%	55	40	5	4%	7.9	53
釜石	29	3%	60	39	27	3%	56	40	2	2%	4.1	47
宮古	49	5%	57	38	42	5%	49	37	7	6%	8.2	53
久慈	32	4%	54	36	28	4%	47	36	4	3%	6.7	51
二戸	35	4%	63	41	28	4%	50	38	7	6%	12.6	60
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資\_図表 3-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,565,968		1,232	(497)	107,626		85	(101)	1,673,594		1,317	(557)
岩手県	17,496	1.1%	1,367	53	1,576	1.5%	123	54	19,072	1.1%	1,490	53
盛岡	7,618	44%	1,598	57	626	40%	131	55	8,244	43%	1,729	57
岩手中部	2,468	14%	1,096	47	264	17%	117	53	2,732	14%	1,213	48
胆江	1,611	9%	1,191	49	235	15%	174	59	1,846	10%	1,364	51
両磐	1,617	9%	1,249	50	107	7%	83	50	1,724	9%	1,332	50
気仙	683	4%	1,075	47	80	5%	126	54	763	4%	1,201	48
釜石	929	5%	1,913	64	21	1%	43	46	950	5%	1,956	61
宮古	1,165	7%	1,358	53	85	5%	99	51	1,250	7%	1,457	53
久慈	676	4%	1,140	48	55	3%	93	51	731	4%	1,233	48
二戸	729	4%	1,308	52	103	7%	185	60	832	4%	1,493	53
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 3-7 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	893,970		703	(227)	328,406		258	(209)	336,282		265	(217)
岩手県	10,552	1.2%	825	55	2,432	0.7%	190	47	4,358	1.3%	341	53
盛岡	4,536	43%	951	61	1,404	58%	294	52	1,658	38%	348	54
岩手中部	1,641	16%	729	51	149	6%	66	41	632	15%	281	51
胆江	977	9%	722	51	332	14%	245	49	274	6%	202	47
両磐	1,161	11%	897	59	60	2%	46	40	382	9%	295	51
気仙	411	4%	647	48	60	2%	94	42	198	5%	312	52
釜石	623	6%	1,283	76	102	4%	210	48	204	5%	420	57
宮古	428	4%	499	41	148	6%	172	46	575	13%	670	69
久慈	377	4%	636	47	85	3%	143	45	210	5%	354	54
二戸	398	4%	714	50	92	4%	165	46	225	5%	404	56
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資\_図表 3-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床				地域包括ケア病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	73,304		58	(47)	61,433		58	(56)
岩手県	690	0.9%	54	49	475	0.8%	37	46
盛岡	366	53%	77	54	210	44%	44	47
岩手中部	98	14%	44	47	40	8%	18	43
胆江	60	9%	44	47	52	11%	38	46
両磐	45	7%	35	45	137	29%	106	58
気仙	0	0%	0	38	36	8%	57	50
釜石	0	0%	0	38	0	0%	0	40
宮古	78	11%	91	57	0	0%	0	40
久慈	43	6%	73	53	0	0%	0	40
二戸	0	0%	0	38	0	0%	0	40
出典	平成27年度病床機能報告 平成27年7月				平成29年5月地方厚生局			

3.岩手県(2017年版)

資\_図表 3-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24)	9.1%	(23)
岩手県	7,630	6,439	153	9,632	3,863	2,279	62.5%	54	6.3%	49
盛岡	1,967	1,851	18	5,651	2,685	1,386	40.8%	45	1.3%	47
岩手中部	1,428	1,238	0	930	293	149	80.9%	62	0.0%	46
胆江	688	660	0	924	317	332	67.6%	56	0.0%	46
両磐	1,120	774	0	418	358	60	68.4%	57	0.0%	46
気仙	495	376	0	153	0	60	100.0%	70	0.0%	46
釜石	452	452	0	477	171	102	72.6%	58	0.0%	46
宮古	391	377	0	788	0	148	100.0%	70	0.0%	46
久慈	360	313	43	291	39	42	88.9%	65	50.6%	68
二戸	729	398	92	0	0	0	100.0%	70	100.0%	89
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資\_図表 3-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	2,818,920		2,218	(1,031)	1,022,592		805	(283)
岩手県	28,140	1.0%	2,199	50	10,212	1.0%	798	50
盛岡	15,180	54%	3,184	59	4,248	42%	891	53
岩手中部	5,280	19%	2,345	51	1,752	17%	778	49
胆江	2,160	8%	1,596	44	552	5%	408	36
両磐	2,172	8%	1,678	45	1,296	13%	1,001	57
気仙	864	3%	1,360	42	624	6%	982	56
釜石	552	2%	1,137	40	192	2%	395	36
宮古	816	3%	951	38	504	5%	587	42
久慈	636	2%	1,073	39	444	4%	749	48
二戸	480	2%	861	37	600	6%	1,077	60
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 3-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	345,356		272	(89)	214,678		169	(65)	130,678		103	(31)
岩手県	3,004	0.9%	235	46	1,964	0.9%	153	48	1,041	0.8%	81	43
盛岡	1,530	51%	321	56	1,079	55%	226	59	451	43%	95	47
岩手中部	397	13%	176	39	218	11%	97	39	179	17%	79	42
胆江	270	9%	199	42	162	8%	120	42	108	10%	79	42
両磐	248	8%	192	41	153	8%	118	42	95	9%	73	40
気仙	138	5%	217	44	82	4%	129	44	56	5%	88	45
釜石	91	3%	187	40	58	3%	119	42	33	3%	68	39
宮古	124	4%	144	36	73	4%	85	37	51	5%	59	36
久慈	98	3%	166	38	63	3%	106	40	35	3%	60	36
二戸	109	4%	196	41	76	4%	135	45	34	3%	60	36
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 3-12 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	小児科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	産婦人科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	15,664		12.3	(6.5)	12,494		9.8	(4.5)	10,443		8.2	(3.7)
岩手県	86	0.5%	6.7	41	89	0.7%	7.0	44	89	0.9%	7.0	47
盛岡	46	53%	9.6	46	55	62%	11.5	54	49	55%	10.3	56
岩手中部	18	21%	8.0	43	9	10%	4.0	37	8	9%	3.6	37
胆江	5	6%	3.7	37	5	6%	3.7	36	9	10%	6.7	46
両磐	8	9%	6.2	41	5	6%	3.9	37	7	8%	5.4	42
気仙	3	3%	4.7	38	5	6%	7.9	46	4	4%	6.3	45
釜石	1	1%	2.1	34	4	4%	8.2	46	2	2%	4.1	39
宮古	2	2%	2.3	35	2	2%	2.3	33	4	4%	4.7	40
久慈	1	1%	1.7	34	2	2%	3.4	36	2	2%	3.4	37
二戸	2	2%	3.6	37	2	2%	3.6	36	4	4%	7.2	47
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

3.岩手県(2017年版)

資\_図表 3-13 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.1)	7,466		5.9	(2.5)
岩手県	42	0.8%	3.3	46	74	0.8%	5.8	45	57	0.8%	4.5	44
盛岡	24	57%	5.0	54	46	62%	9.6	57	34	60%	7.1	55
岩手中部	9	21%	4.0	49	11	15%	4.9	42	4	7%	1.8	34
胆江	3	7%	2.2	41	6	8%	4.4	40	7	12%	5.2	47
両磐	3	7%	2.3	41	4	5%	3.1	36	5	9%	3.9	42
気仙	2	5%	3.1	45	2	3%	3.1	36	1	2%	1.6	33
釜石	0	0%	0	30	1	1%	2.1	33	1	2%	2.1	35
宮古	0	0%	0	30	1	1%	1.2	30	1	2%	1.2	32
久慈	1	2%	1.7	38	1	1%	1.7	32	2	4%	3.4	40
二戸	0	0%	0	30	2	3%	3.6	38	2	4%	3.6	41
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 3-14 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.0	(6.9)	15,369		12.1	(4.4)
岩手県	56	0.7%	4.4	44	170	0.8%	13.3	46	110	0.7%	8.6	42
盛岡	25	45%	5.2	46	88	52%	18.5	54	59	54%	12.4	51
岩手中部	7	13%	3.1	40	24	14%	10.7	42	19	17%	8.4	42
胆江	5	9%	3.7	42	20	12%	14.8	48	11	10%	8.1	41
両磐	8	14%	6.2	49	14	8%	10.8	42	8	7%	6.2	37
気仙	0	0%	0	31	6	4%	9.4	40	3	3%	4.7	33
釜石	2	4%	4.1	43	3	2%	6.2	36	2	2%	4.1	32
宮古	2	4%	2.3	38	6	4%	7.0	37	5	5%	5.8	36
久慈	4	7%	6.7	51	6	4%	10.1	41	2	2%	3.4	30
二戸	3	5%	5.4	47	3	2%	5.4	34	1	1%	1.8	27
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 3-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.0)	6,376		5.0	(2.3)	5,300		4.2	(2.9)
岩手県	62	1.1%	4.8	52	70	1.1%	5.5	52	36	0.7%	2.8	45
盛岡	32	52%	6.7	61	36	51%	7.6	61	25	69%	5.2	54
岩手中部	6	10%	2.7	41	12	17%	5.3	51	3	8%	1.3	40
胆江	8	13%	5.9	57	6	9%	4.4	48	1	3%	0.7	38
両磐	6	10%	4.6	51	5	7%	3.9	45	2	6%	1.5	41
気仙	3	5%	4.7	51	3	4%	4.7	49	0	0%	0	36
釜石	0	0%	0	28	2	3%	4.1	46	2	6%	4.1	50
宮古	3	5%	3.5	45	1	1%	1.2	33	2	6%	2.3	44
久慈	3	5%	5.1	53	1	1%	1.7	36	0	0%	0	36
二戸	1	2%	1.8	37	4	6%	7.2	59	1	3%	1.8	42
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 3-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.0)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
岩手県	49	0.7%	3.8	46	10	0.6%	0.8	45	47	1.4%	3.7	56
盛岡	32	65%	6.7	55	10	100%	2.1	60	30	64%	6.3	72
岩手中部	3	6%	1.3	37	0	0%	0	37	3	6%	1.3	43
胆江	5	10%	3.7	45	0	0%	0	37	2	4%	1.5	43
両磐	5	10%	3.9	46	0	0%	0	37	6	13%	4.6	62
気仙	0	0%	0	33	0	0%	0	37	2	4%	3.1	53
釜石	1	2%	2.1	40	0	0%	0	37	1	2%	2.1	47
宮古	2	4%	2.3	41	0	0%	0	37	0	0%	0	35
久慈	0	0%	0	33	0	0%	0	37	3	6%	5.1	65
二戸	1	2%	1.8	39	0	0%	0	37	0	0%	0	35
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

3.岩手県(2017年版)

資\_図表 3-17 専門医数 (形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
岩手県	17	0.9%	1.3	48	14	0.6%	1.1	44
盛岡	11	65%	2.3	56	10	71%	2.1	52
岩手中部	1	6%	0.4	40	3	21%	1.3	46
胆江	1	6%	0.7	43	0	0%	0	36
両磐	2	12%	1.5	50	0	0%	0	36
気仙	0	0%	0	37	0	0%	0	36
釜石	0	0%	0	37	0	0%	0	36
宮古	1	6%	1.2	47	1	7%	1.2	45
久慈	1	6%	1.7	51	0	0%	0	36
二戸	0	0%	0	37	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資\_図表 3-18 看護師数 (総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,114,100		877	(286)	916,998		722	(240)	197,102		155	(73)
岩手県	11,967	1.1%	935	52	9,633	1.1%	753	51	2,334	1.2%	182	54
盛岡	5,324	44%	1,117	58	4,491	47%	942	59	833	36%	175	53
岩手中部	1,570	13%	697	44	1,225	13%	544	43	346	15%	153	50
胆江	1,230	10%	909	51	899	9%	664	48	332	14%	245	62
両磐	1,204	10%	930	52	923	10%	713	50	281	12%	217	58
気仙	463	4%	729	45	357	4%	562	43	106	5%	167	52
釜石	503	4%	1,037	56	452	5%	931	59	52	2%	106	43
宮古	704	6%	820	48	525	5%	611	45	179	8%	209	57
久慈	449	4%	757	46	374	4%	631	46	75	3%	126	46
二戸	520	4%	933	52	388	4%	696	49	132	6%	237	61
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			



資\_図表 3-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	薬剤師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	126,125		99	(53)	288,151		227	(91)
岩手県	1,056	0.8%	83	47	2,232	0.8%	174	44
盛岡	637	60%	134	56	1,084	49%	227	50
岩手中部	130	12%	58	42	374	17%	166	43
胆江	66	6%	49	41	193	9%	143	41
両磐	64	6%	49	41	191	9%	148	41
気仙	15	1%	24	36	94	4%	148	41
釜石	28	3%	58	42	74	3%	152	42
宮古	74	7%	86	48	88	4%	103	36
久慈	26	2%	44	40	47	2%	79	34
二戸	16	2%	29	37	87	4%	156	42
出典	平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資\_図表 3-20 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養 支援診療 所	県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	在宅療養 支援病院	県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 ステーショ ン	県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	13,255		0.8	(0.4)	1,210		0.1	(0.1)	10,420		0.6	(0.2)
岩手県	77	0.6%	0.4	40	7	0.6%	0.0	43	104	1.0%	0.5	43
盛岡	38	49%	0.6	45	4	57%	0.1	48	48	46%	0.8	56
岩手中部	22	29%	0.6	45	0	0%	0	38	13	13%	0.4	35
胆江	3	4%	0.1	34	0	0%	0	38	11	11%	0.5	41
両磐	3	4%	0.1	34	2	29%	0.1	51	13	13%	0.5	44
気仙	4	5%	0.3	38	0	0%	0	38	4	4%	0.3	34
釜石	4	5%	0.4	41	0	0%	0	38	4	4%	0.4	40
宮古	2	3%	0.1	34	1	14%	0.1	48	8	8%	0.5	43
久慈	1	1%	0.1	33	0	0%	0	38	1	1%	0.1	23
二戸	0	0%	0	31	0	0%	0	38	2	2%	0.2	27
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成29年5月			

資\_図表 3-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,674,440		104	(17)	992,340		62	(12)	682,100		42	(16)
岩手県	19,754	1.2%	95	45	14,618	1.5%	70	57	5,136	0.8%	25	39
盛岡	6,834	35%	109	53	4,645	32%	74	60	2,189	43%	35	45
岩手中部	3,400	17%	92	43	2,541	17%	69	56	859	17%	23	38
胆江	2,010	10%	83	38	1,510	10%	63	51	500	10%	21	36
両磐	2,518	13%	102	49	1,720	12%	70	57	798	16%	32	44
気仙	987	5%	80	36	868	6%	70	57	119	2%	10	29
釜石	767	4%	83	38	668	5%	73	59	99	2%	11	30
宮古	1,215	6%	76	33	978	7%	61	49	237	5%	15	33
久慈	1,007	5%	96	45	826	6%	79	64	181	4%	17	34
二戸	1,016	5%	91	42	862	6%	77	63	154	3%	14	32
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 3-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数				特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	364,437		23	(5.8)	563,306		35	(9.7)	64,597		4.0	(4.1)
岩手県	6,045	1.7%	29	61	8,228	1.5%	40	55	345	0.5%	1.7	44
盛岡	2,112	35%	34	69	2,272	28%	36	51	261	76%	4.2	50
岩手中部	1,101	18%	30	62	1,387	17%	38	53	53	15%	1.4	44
胆江	517	9%	21	48	993	12%	41	56	0	0%	0	40
両磐	672	11%	27	58	1,036	13%	42	57	12	3%	0.5	41
気仙	342	6%	28	59	526	6%	43	58	0	0%	0	40
釜石	288	5%	31	65	380	5%	41	57	0	0%	0	40
宮古	361	6%	22	50	617	7%	38	54	0	0%	0	40
久慈	352	6%	34	69	455	6%	43	59	19	6%	1.8	45
二戸	300	5%	27	57	562	7%	50	66	0	0%	0	40
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 3-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	有料老人ホーム			軽費ホーム	軽費ホーム			グループホーム	グループホーム		
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	230,505		14.3	(10.8)	23,117		1.4	(2.1)	195,525		12.1	(5.8)
岩手県	329	0.1%	1.6	38	565	2.4%	2.7	56	2,276	1.2%	11.0	48
盛岡	197	60%	3.2	40	269	48%	4.3	64	660	29%	10.6	47
岩手中部	9	3%	0.2	37	130	23%	3.5	60	477	21%	12.9	51
胆江	0	0%	0	37	0	0%	0	43	224	10%	9.3	45
両磐	90	27%	3.7	40	96	17%	3.9	62	333	15%	13.5	52
気仙	0	0%	0	37	0	0%	0	43	99	4%	8.0	43
釜石	0	0%	0	37	0	0%	0	43	99	4%	10.8	48
宮古	21	6%	1.3	38	0	0%	0	43	196	9%	12.2	50
久慈	0	0%	0	37	0	0%	0	43	116	5%	11.1	48
二戸	12	4%	1.1	38	70	12%	6.2	73	72	3%	6.4	40
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 3-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	サ高住(全施設)			サ高住 (特定 施設)	サ高住(特定 施設)			サ高住 (非特定 施設)	サ高住(非特定 施設)		
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	232,953		14.4	(7.2)	15,364		1.0	(1.7)	217,589		13.5	(6.7)
岩手県	1,966	0.8%	9.5	43	19	0.1%	0.1	45	1,947	0.9%	9.4	44
盛岡	1,063	54%	17.0	54	0	0%	0	44	1,063	55%	17.0	55
岩手中部	243	12%	6.6	39	0	0%	0	44	243	12%	6.6	40
胆江	276	14%	11.4	46	19	100%	0.8	49	257	13%	10.6	46
両磐	279	14%	11.3	46	0	0%	0	44	279	14%	11.3	47
気仙	20	1%	1.6	32	0	0%	0	44	20	1%	1.6	32
釜石	0	0%	0	30	0	0%	0	44	0	0%	0	30
宮古	20	1%	1.2	32	0	0%	0	44	20	1%	1.2	32
久慈	65	3%	6.2	39	0	0%	0	44	65	3%	6.2	39
二戸	0	0%	0	30	0	0%	0	44	0	0%	0	30
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成29年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資\_図表 3-25 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数(施設)				看護師数(訪問)			
	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	165,392		10.3	(2.3)	119,201		7.4	(2.1)	46,191		2.9	(1.0)
岩手県	1,827	1.1%	8.8	44	1,428	1.2%	6.9	48	399	0.9%	1.9	40
盛岡	724	40%	11.6	56	526	37%	8.4	55	198	50%	3.2	53
岩手中部	296	16%	8.0	40	232	16%	6.3	45	63	16%	1.7	38
胆江	159	9%	6.6	34	128	9%	5.3	40	31	8%	1.3	34
両磐	226	12%	9.2	45	179	13%	7.3	49	47	12%	1.9	40
気仙	82	4%	6.6	35	70	5%	5.7	42	12	3%	1.0	30
釜石	62	3%	6.8	35	51	4%	5.5	41	12	3%	1.2	33
宮古	109	6%	6.8	35	83	6%	5.2	39	26	7%	1.6	37
久慈	87	5%	8.3	42	83	6%	8.0	53	3	1%	0.3	23
二戸	82	4%	7.3	37	76	5%	6.8	47	6	2%	0.6	26
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 3-26 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数(介護施設等)				介護職員数(在宅)			
	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設等)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (在宅)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,457,554		90	(12.5)	1,233,195		76	(11.5)	224,360		13.9	(5.6)
岩手県	19,105	1.3%	92	51	16,724	1.4%	81	54	2,381	1.1%	11.5	46
盛岡	6,226	33%	100	57	5,202	31%	83	56	1,024	43%	16.4	54
岩手中部	3,444	18%	93	52	3,109	19%	84	57	336	14%	9.1	41
胆江	1,965	10%	81	43	1,747	10%	72	46	218	9%	9.0	41
両磐	2,240	12%	91	51	1,993	12%	81	54	248	10%	10.1	43
気仙	962	5%	78	40	843	5%	68	43	119	5%	9.7	42
釜石	810	4%	88	48	721	4%	78	52	89	4%	9.7	42
宮古	1,510	8%	94	53	1,336	8%	83	56	174	7%	10.8	45
久慈	973	5%	93	52	899	5%	86	58	74	3%	7.0	38
二戸	974	5%	87	47	874	5%	78	51	100	4%	8.9	41
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 3-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		66	(31)	450,441		28	(12)	1,480,879		92	(32)
岩手県	5,076	0.5%	24	37	3,962	0.9%	19	43	13,352	0.9%	64	41
盛岡	2,071	41%	33	39	1,744	44%	28	50	4,815	36%	77	45
岩手中部	928	18%	25	37	956	24%	26	48	1,888	14%	51	37
胆江	345	7%	14	33	372	9%	15	39	1,227	9%	51	37
両磐	386	8%	16	34	400	10%	16	40	1,803	14%	73	44
気仙	179	4%	14	33	106	3%	9	34	785	6%	64	41
釜石	716	14%	78	54	118	3%	13	37	636	5%	69	43
宮古	363	7%	23	36	188	5%	12	36	1,130	8%	70	43
久慈	27	1%	3	30	14	0%	1	28	392	3%	37	33
二戸	61	1%	5	31	64	2%	6	31	676	5%	60	40
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 3-28 総人口の推移と医療需要<sup>8</sup>の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	120,699,960	-6%	12%	6%	18%
岩手県		1,385,041	1,279,594	-8%	1,139,825	-18%	3%	-2%	1%
盛岡	地方都市型	489,492	476,758	-3%	441,523	-10%	10%	4%	15%
岩手中部	地方都市型	238,126	225,155	-5%	201,820	-15%	5%	-3%	2%
胆江	過疎地域型	146,567	135,317	-8%	120,791	-18%	3%	-4%	-1%
両磐	過疎地域型	144,541	129,451	-10%	111,368	-23%	-1%	-6%	-7%
気仙	過疎地域型	74,888	63,536	-15%	54,397	-27%	-5%	-4%	-9%
釜石	過疎地域型	59,503	48,561	-18%	40,140	-33%	-10%	-7%	-17%
宮古	過疎地域型	99,885	85,809	-14%	71,507	-28%	-3%	-7%	-10%
久慈	過疎地域型	67,042	59,279	-12%	50,510	-25%	2%	-5%	-4%
二戸	過疎地域型	64,997	55,728	-14%	47,769	-27%	-3%	-6%	-9%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

3.岩手県(2017年版)

資\_図表 3-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
岩手県	108	7.8	52	91	7.1	51	-17	-16%	73
盛岡	45	9.2	55	39	8.2	54	-6	-13%	32
岩手中部	15	6.3	48	13	5.8	48	-2	-13%	11
胆江	11	7.5	51	9	6.7	50	-2	-18%	7
両磐	12	8.3	53	10	7.7	53	-2	-17%	8
気仙	4	5.3	45	3	4.7	45	-1	-25%	2
釜石	6	10.1	58	5	10.3	59	-1	-17%	4
宮古	7	7.0	50	5	5.8	48	-2	-29%	3
久慈	4	6.0	47	4	6.7	50	0	0%	4
二戸	4	6.2	48	3	5.4	47	-1	-25%	2
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 3-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
岩手県	914	66	45	902	70	45	-12	-1%	889
盛岡	385	79	51	368	77	49	-17	-4%	349
岩手中部	165	69	47	168	75	48	3	2%	171
胆江	94	64	44	98	72	46	4	4%	102
両磐	85	59	41	87	67	44	2	2%	89
気仙	44	59	41	39	61	41	-5	-11%	34
釜石	28	47	36	27	56	37	-1	-4%	26
宮古	54	54	39	49	57	38	-5	-9%	44
久慈	29	43	34	31	52	36	2	7%	33
二戸	30	46	35	35	63	41	5	17%	41
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 3-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	245	(94)	40,834	15%	356,135
岩手県	2,499	180	46	2,622	205	46	123	5%	2,757
盛岡	1,296	265	56	1,418	297	56	122	9%	1,552
岩手中部	322	135	41	341	151	40	19	6%	362
胆江	222	151	43	217	160	41	-5	-2%	212
両磐	205	142	42	205	158	41	0	0%	205
気仙	93	124	40	99	156	41	6	6%	106
釜石	84	141	42	75	154	40	-9	-11%	65
宮古	123	123	39	107	125	37	-16	-13%	89
久慈	77	115	38	79	133	38	2	3%	81
二戸	77	118	39	81	145	39	4	5%	85
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資\_図表 3-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	132	(56)	-131,929	-7%	1,535,514
岩手県	23,126	167	54	19,232	150	53	-3,894	-17%	14,948
盛岡	9,755	199	60	8,289	174	57	-1,466	-15%	6,676
岩手中部	3,412	143	50	2,743	122	48	-669	-20%	2,007
胆江	2,423	165	54	1,866	138	51	-557	-23%	1,253
両磐	2,217	153	52	1,724	133	50	-493	-22%	1,182
気仙	824	110	44	763	120	48	-61	-7%	696
釜石	1,216	204	61	950	196	61	-266	-22%	657
宮古	1,660	166	54	1,315	153	54	-345	-21%	936
久慈	858	128	48	738	124	49	-120	-14%	606
二戸	761	117	46	844	151	53	83	11%	935
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 3-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	78	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
岩手県	14,758	107	58	11,998	94	56	-2,760	-19%	8,962	79
盛岡	5,736	117	62	5,127	108	61	-609	-11%	4,457	101
岩手中部	2,331	98	55	1,861	83	52	-470	-20%	1,344	67
胆江	1,432	98	55	1,177	87	53	-255	-18%	897	74
両磐	1,576	109	59	1,260	97	57	-316	-20%	912	82
気仙	731	98	55	491	77	50	-240	-33%	227	42
釜石	956	161	77	644	133	70	-312	-33%	301	75
宮古	869	87	51	507	59	43	-362	-42%	109	15
久慈	492	73	46	434	73	48	-58	-12%	370	73
二戸	635	98	55	497	89	54	-138	-22%	345	72
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資\_図表 3-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
岩手県	3,622	23	44	2,651	13	43	-971	-27%	1,584	7
盛岡	2,079	47	58	1,484	24	52	-595	-29%	830	10
岩手中部	289	10	37	204	6	37	-85	-29%	111	3
胆江	577	31	49	386	16	46	-191	-33%	176	7
両磐	233	11	38	68	3	34	-165	-71%	-114	-5
気仙	0	0	32	60	5	36	60	100%	126	9
釜石	54	6	35	102	11	42	48	89%	155	15
宮古	127	10	37	154	10	40	27	21%	184	10
久慈	147	19	43	85	8	39	-62	-42%	17	2
二戸	116	13	39	108	10	40	-8	-7%	99	9
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									



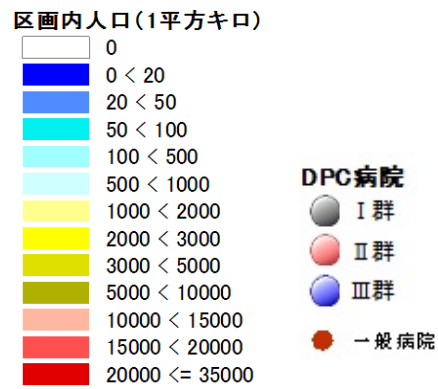
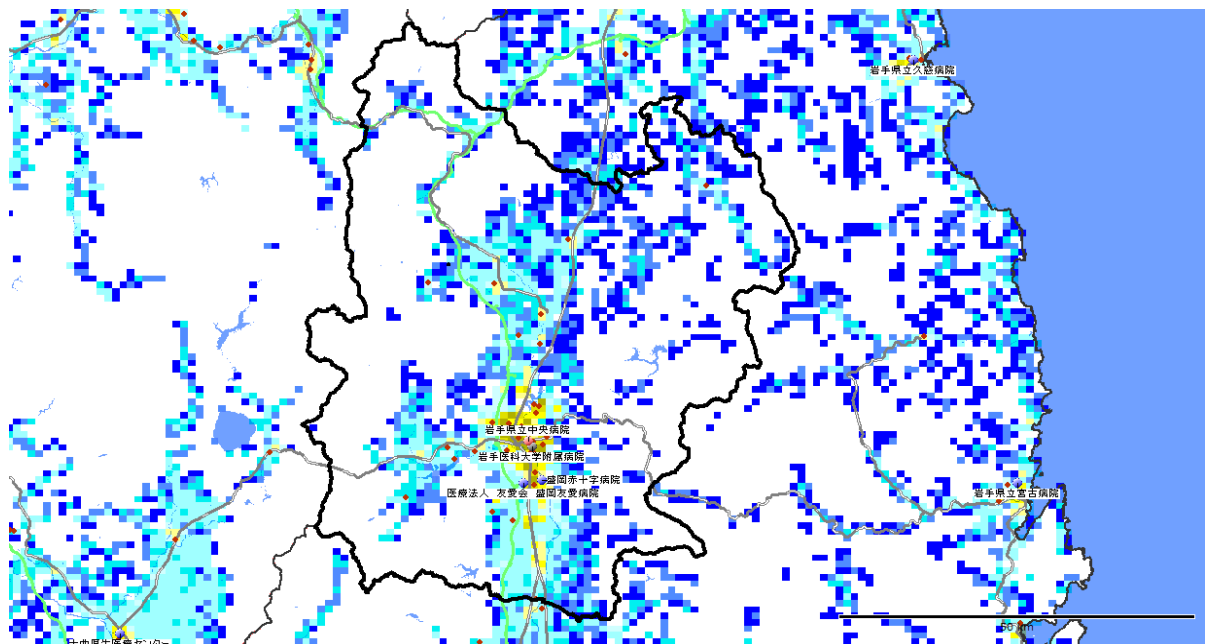
資\_図表 3-35 後期高齢者の医療費・地域差指数<sup>7</sup>

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	934	(123)	1.000	460	(99)	1.000	441	(41)	1.000
岩手県	758	36	0.808	345	38	0.742	388	37	0.878
盛岡	871	45	0.924	407	45	0.876	433	48	0.971
岩手中部	710	32	0.757	297	34	0.639	388	37	0.880
胆江	761	36	0.809	363	40	0.779	370	33	0.836
両磐	667	28	0.708	288	33	0.612	358	30	0.813
気仙	704	31	0.748	308	35	0.658	374	34	0.848
釜石	829	42	0.881	398	44	0.863	407	42	0.911
宮古	742	34	0.793	359	40	0.777	364	31	0.824
久慈	621	25	0.663	286	32	0.618	318	20	0.721
二戸	652	27	0.692	286	32	0.612	350	28	0.791
出典	＜一人あたり医療費＞平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

# 3-1. もりおか 盛岡医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [盛岡市](#) [八幡平市](#) [滝沢市](#) [雫石町](#)  
[葛巻町](#) [岩手町](#) [紫波町](#) [矢巾町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



## (盛岡医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 盛岡(盛岡市)は、総人口約477千人(2015年)、面積3642km<sup>2</sup>、人口密度は131人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 盛岡の総人口は2025年に442千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に382千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の62千人が、2025年にかけて79千人へと増加し(2015年比+27%)、2040年には88千人へと増加する(2025年比+11%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 盛岡の一人当たり医療費(国保)は369千円(偏差値56)、介護給付費は277千円(偏差値57)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 盛岡の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.83、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.19で、急性期の医療はかなり余裕があるが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が56(病院医師数59、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は58と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は61で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は59と多い。盛岡には、年間全身麻酔件数が2000例以上の盛岡赤十字病院(Ⅲ群)、岩手県立中央病院(Ⅱ群)、岩手医科大学附属病院(Ⅰ群・救命)、500例以上の盛岡友愛病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は52と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値56と多く、回復期病床数は偏差値54とやや多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 盛岡の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6834人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4645床(偏差値60)、高齢者住宅等が2189床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5202人(75歳以上1000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設69、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム40、軽費ホーム64、グループホーム47、サ高住54である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値56と多い。介護職員(在宅)の合計は、1024人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-12%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(盛岡医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

盛岡医療圏の総人口は、2005年489492人が、2015年に476758人と3%減少し、2025年の人口が441523人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

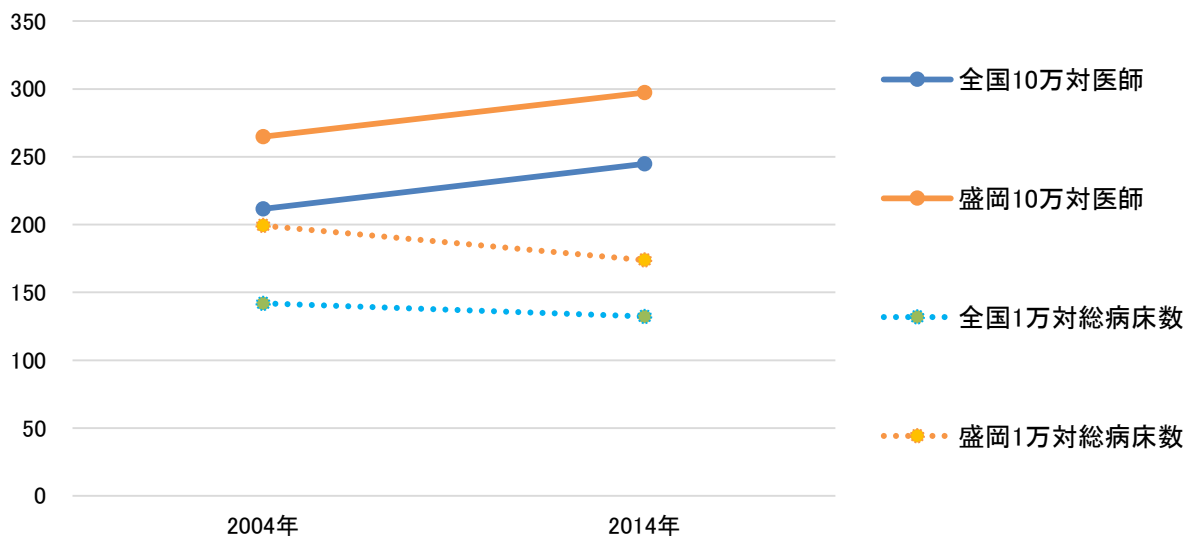
2004年の病院数が45(人口10万人当たり9.2病院(全国平均7.1)偏差値55)であったが、2014年に39(人口10万人当たり8.2病院(全国平均6.7)偏差値54)となり、10年間で6病院が減少した。

2004年の診療所数が385(人口10万人当たり79診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2014年に368(人口10万人当たり77診療所(全国平均79)偏差値49)と、17診療所が減少した。

2004年の総病床数が9755床(人口1万人当たり199(全国平均142)偏差値60)であったが、2014年に8289床(人口1万人当たり174(全国平均132)偏差値57)と、1466床の減少、率にして15%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

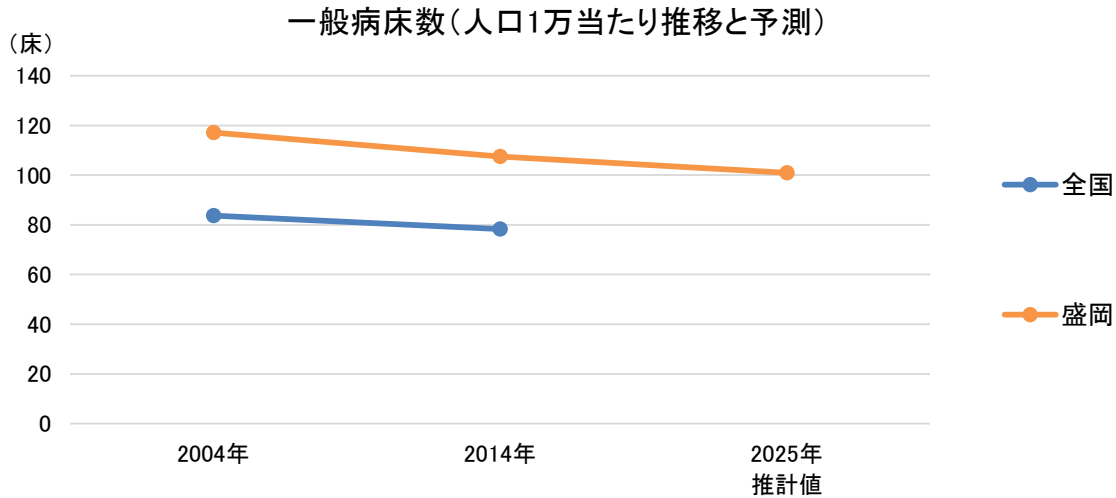
2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が1296人(人口10万人当たり265人(全国平均212人)偏差値56)であったが、2014年に1418人(人口10万人当たり297人(全国平均245人)偏差値56)と、122人の増加、率にして9%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



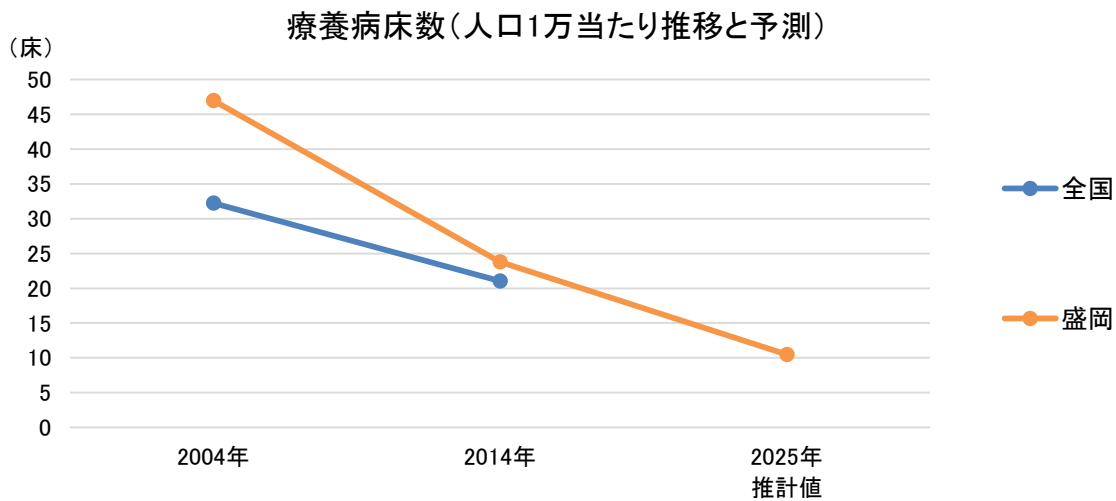
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5736床(人口1万人当たり117(全国平均84)偏差値62)であったが、2014年に5127床(人口1万人当たり108(全国平均78)偏差値61)と、609床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4457床(2025年の推計人口1万人当たり101)になることが予想される。



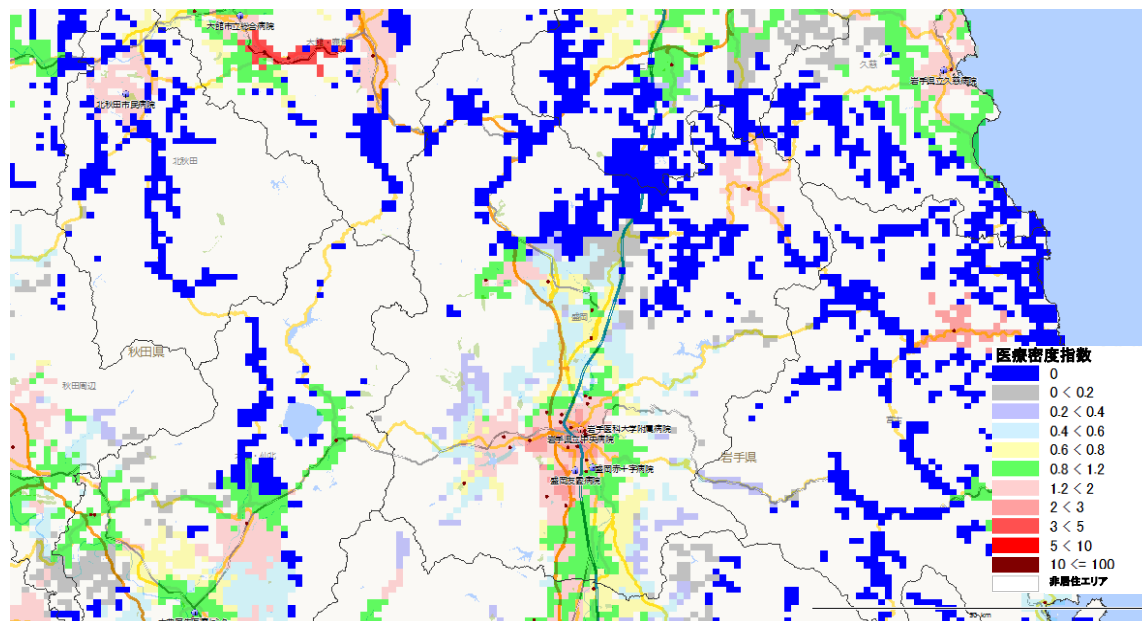
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2079床(75歳以上1000人当たり47(全国平均32)偏差値58)であったが、2014年に1484床(75歳以上1000人当たり24(全国平均21)偏差値52)と、595床の減少、率にして29%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には830床(2025年の推計75歳以上1000人当たり10)になることが予想される。



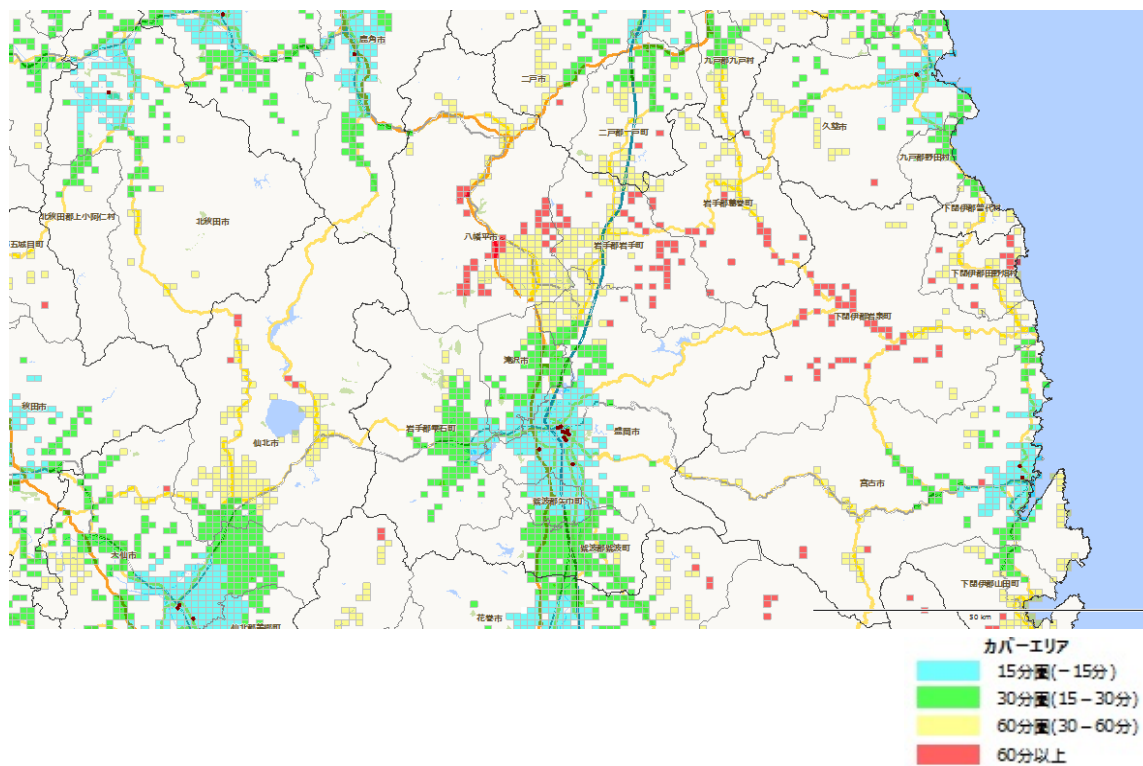
(盛岡医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表3-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表3-1-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

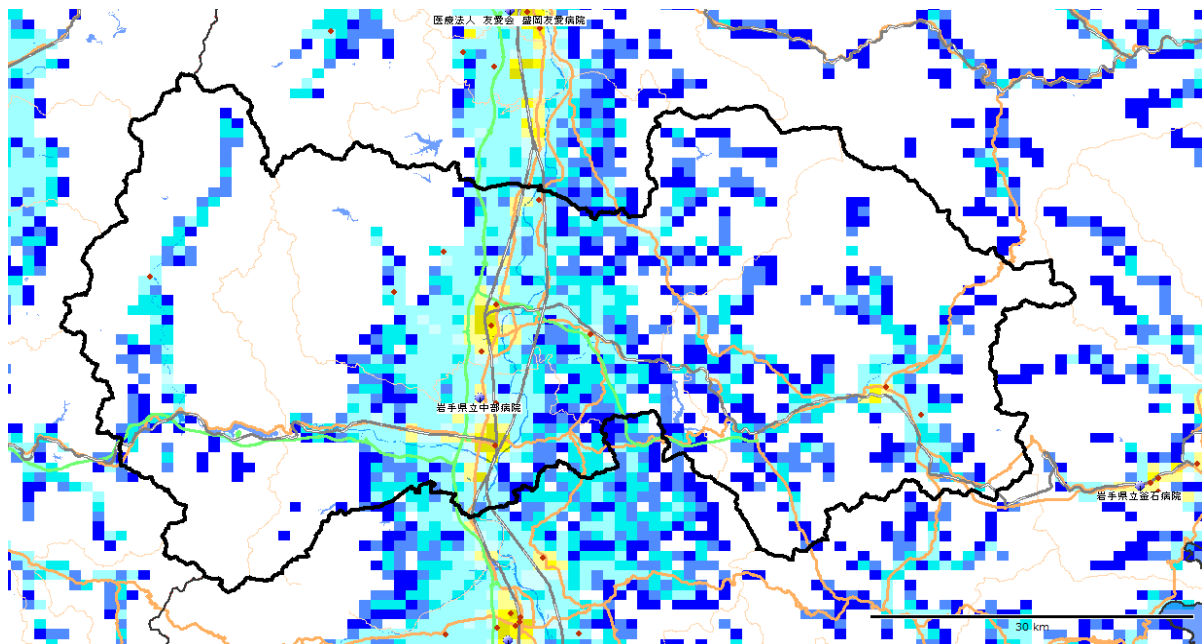
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推定値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



# 3-2. いわてちゅうぶ 岩手中部医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [花巻市](#)      [北上市](#)      [遠野市](#)      [西和賀町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (岩手中部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 岩手中部(花巻市)は、総人口約225千人(2015年)、面積2763km<sup>2</sup>、人口密度は81人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 岩手中部の総人口は2025年に202千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に169千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の37千人が、2025年にかけて40千人へと増加し(2015年比+8%)、2040年には39千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 岩手中部の一人当たり医療費(国保)は348千円(偏差値51)、介護給付費は276千円(偏差値57)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 岩手中部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.49で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が39(病院医師数39、診療所医師数42)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は44と少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は51で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。岩手中部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の岩手県立中部病院(Ⅱ群)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は41と療養病床数は少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 岩手中部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3400人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2541床(偏差値56)、高齢者住宅等が859床(偏差値38)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3109人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設62、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム37、軽費ホーム60、グループホーム51、サ高住39である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値35と少ない。介護職員(在宅)の合計は、336人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

**\*介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-4%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。



## (岩手中部医療圏) 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

岩手中部医療圏の総人口は、2005年238126人が、2015年に225155人と5%減少し、2025年の人口が201820人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

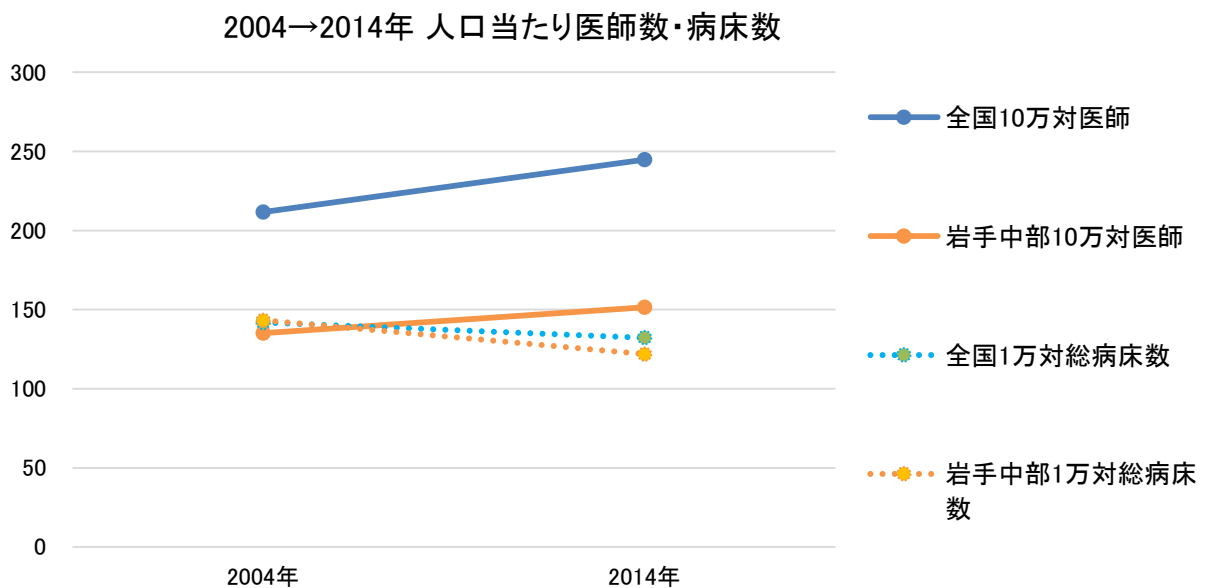
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が15(人口10万人当たり6.3病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2014年に13(人口10万人当たり5.8病院(全国平均6.7)偏差値48)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が165(人口10万人当たり69診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に168(人口10万人当たり75診療所(全国平均79)偏差値48)と、3診療所が増加した。

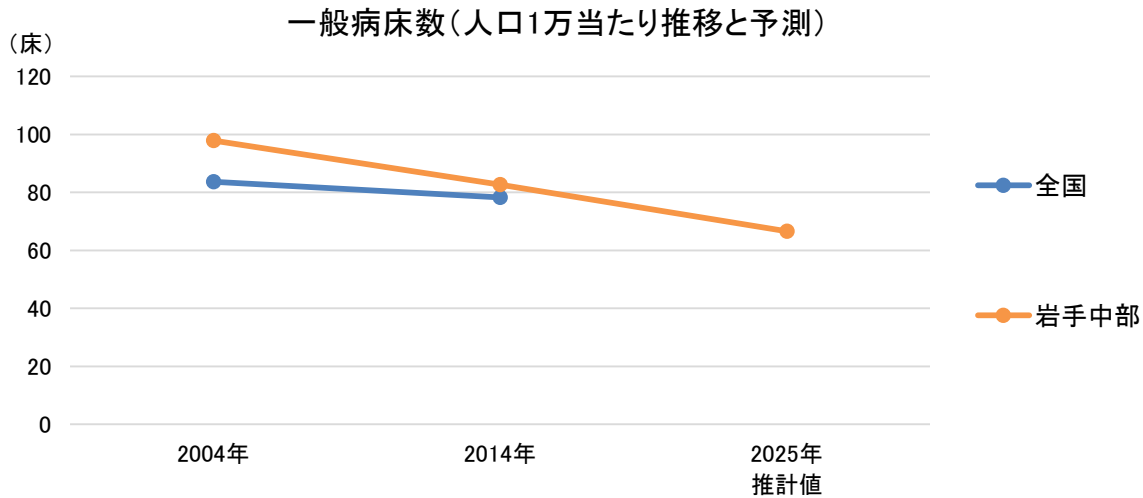
2004年の総病床数が3412床(人口1万人当たり143(全国平均142)偏差値50)であったが、2014年に2743床(人口1万人当たり122(全国平均132)偏差値48)と、669床の減少、率にして20%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が322人(人口10万人当たり135人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2014年に341人(人口10万人当たり151人(全国平均245人)偏差値40)と、19人の増加、率にして6%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



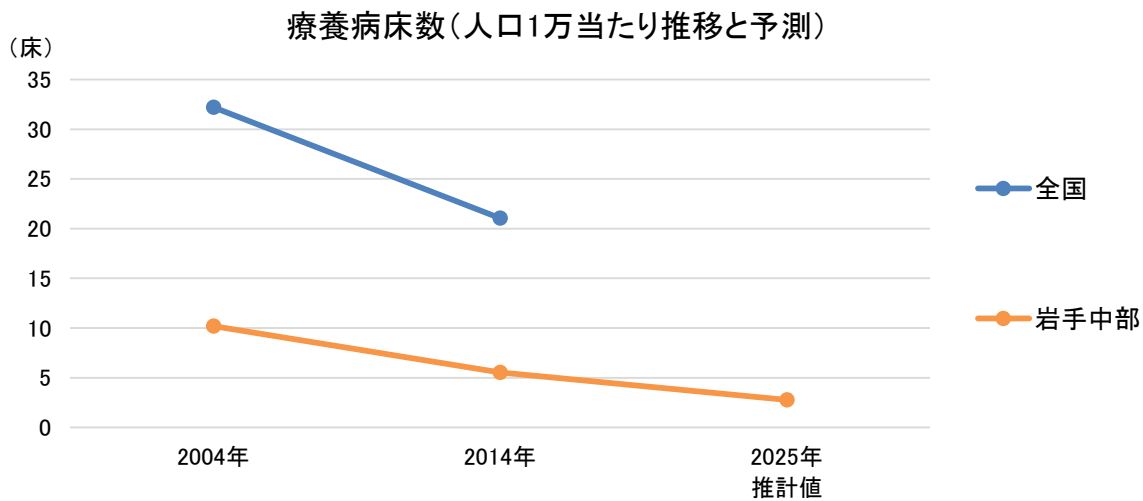
**【一般病床の推移と今後の予測】**

2004年の一般病床(病院+診療所)が2331床(人口1万人当たり98(全国平均84)偏差値55)であったが、2014年に1861床(人口1万人当たり83(全国平均78)偏差値52)と、470床の減少、率にして20%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1344床(2025年の推計人口1万人当たり67)になることが予想される。



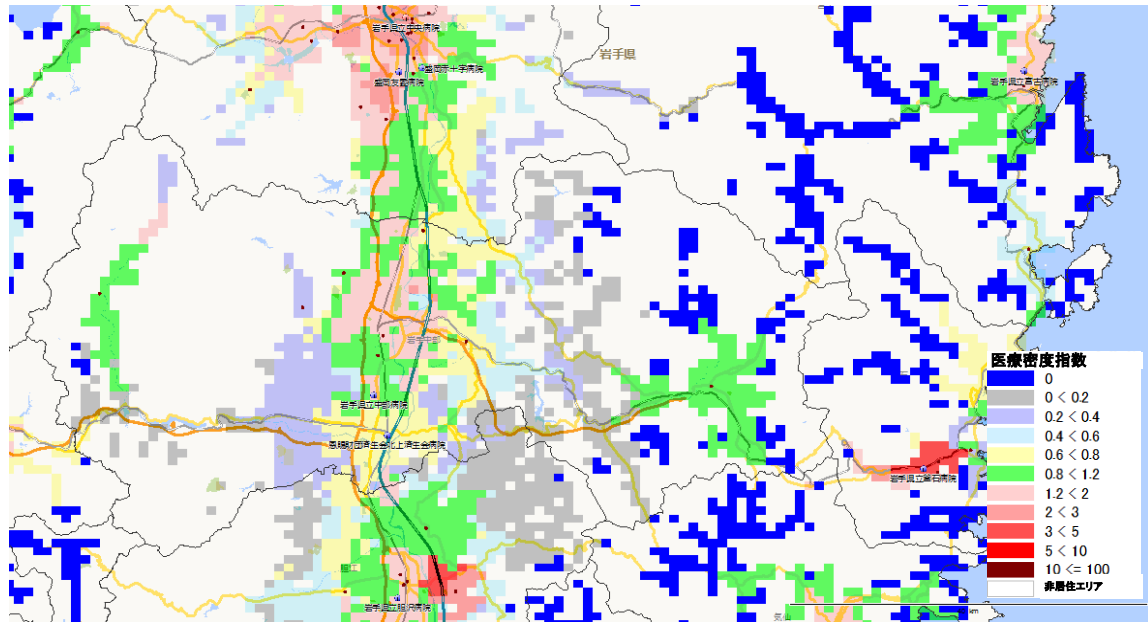
**【療養病床の推移と今後の予測】**

2004年の療養病床(病院+診療所)が289床(75歳以上1000人当たり10(全国平均32)偏差値37)であったが、2014年に204床(75歳以上1000人当たり6(全国平均21)偏差値37)と、85床の減少、率にして29%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には111床(2025年の推計75歳以上1000人当たり3)になることが予想される。



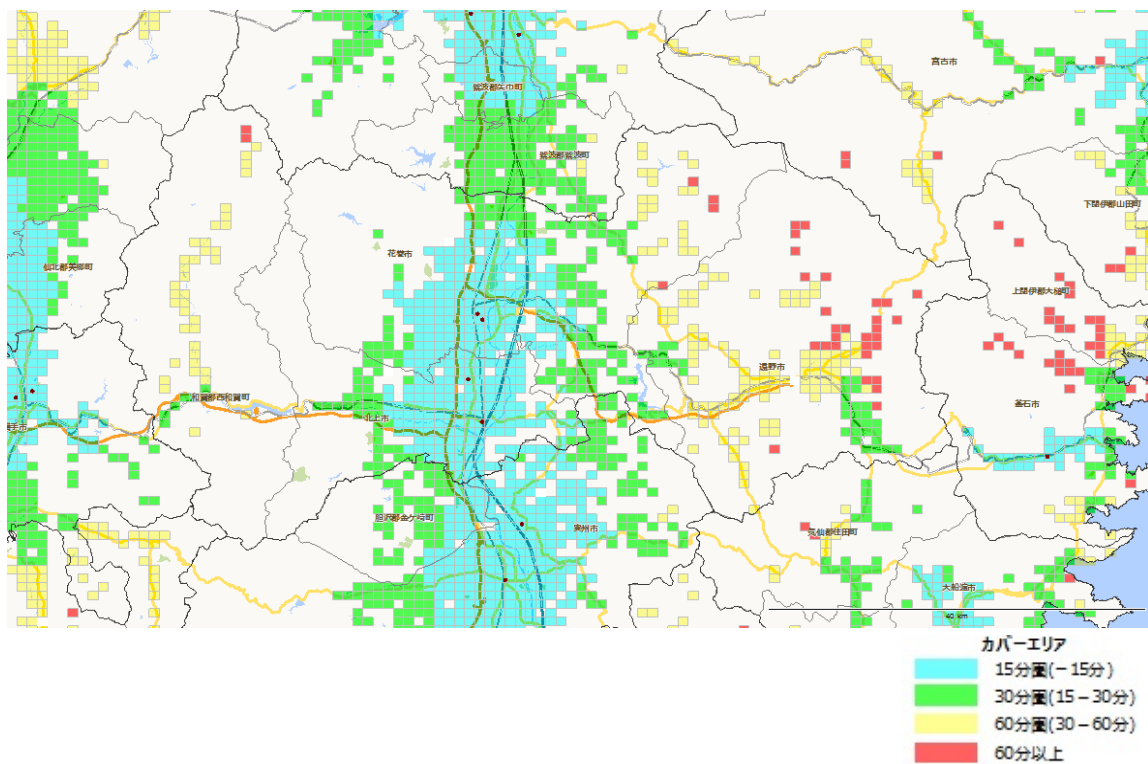
(岩手中部医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表3-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表3-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

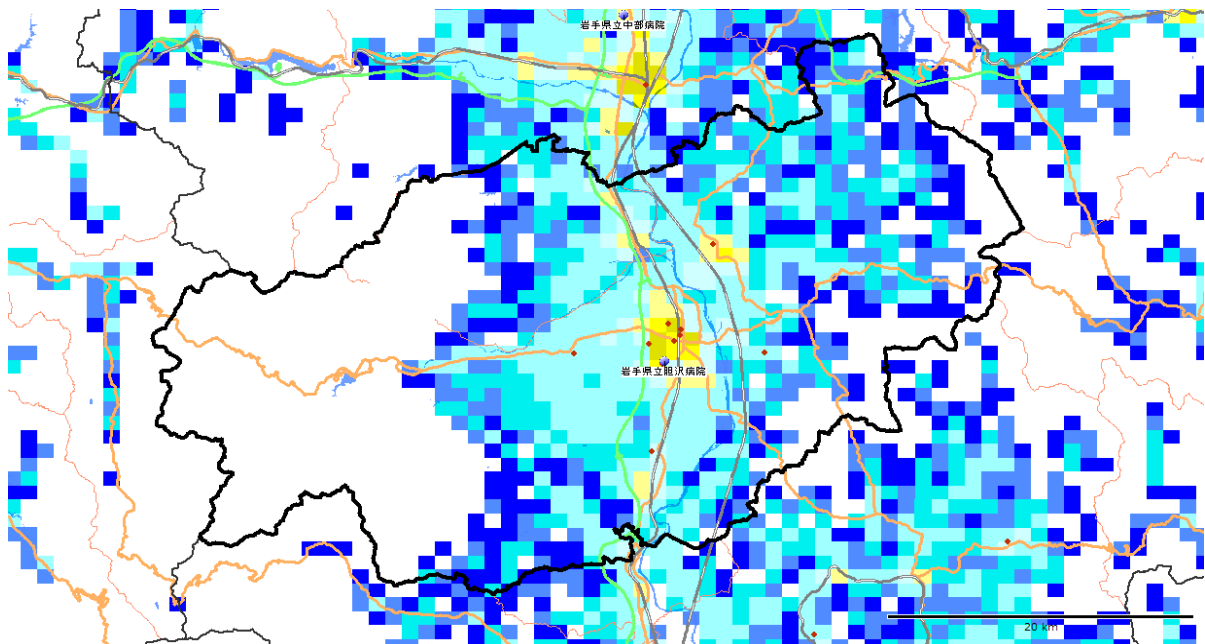
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



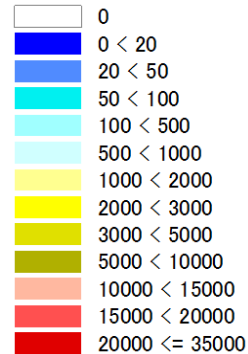
# 3-3. たんこう 胆江医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [奥州市](#) [金ヶ崎町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (胆江医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など：胆江(奥州市)は、総人口約135千人(2015年)、面積1173km<sup>2</sup>、人口密度は115人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測：胆江の総人口は2025年に121千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に100千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の24千人が、2025年にかけて25千人へと増加し(2015年比+4%)、2040年には25千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費：胆江の一人当たり医療費(国保)は333千円(偏差値48)、介護給付費は247千円(偏差値49)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度：胆江の一人当たり急性期医療密度指数2は1.08、一人当たり慢性期医療密度指数2は1.07で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状：総医師数3の偏差値が42(病院医師数42、診療所医師数42)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は51と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は51で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。胆江には、年間全身麻酔件数が1000例以上の岩手県立胆沢病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状：総療法士数は偏差値41と少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

\*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

\*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状：胆江の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2010人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1510床(偏差値51)、高齢者住宅等が500床(偏差値36)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1747人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム56、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム45、サ高住46である。

\*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値34と非常に少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、218人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測：2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-18%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(胆江医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

胆江医療圏の総人口は、2005年146567人が、2015年に135317人と8%減少し、2025年の人口が120791人と予測され、2005年→2025年の間に18%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

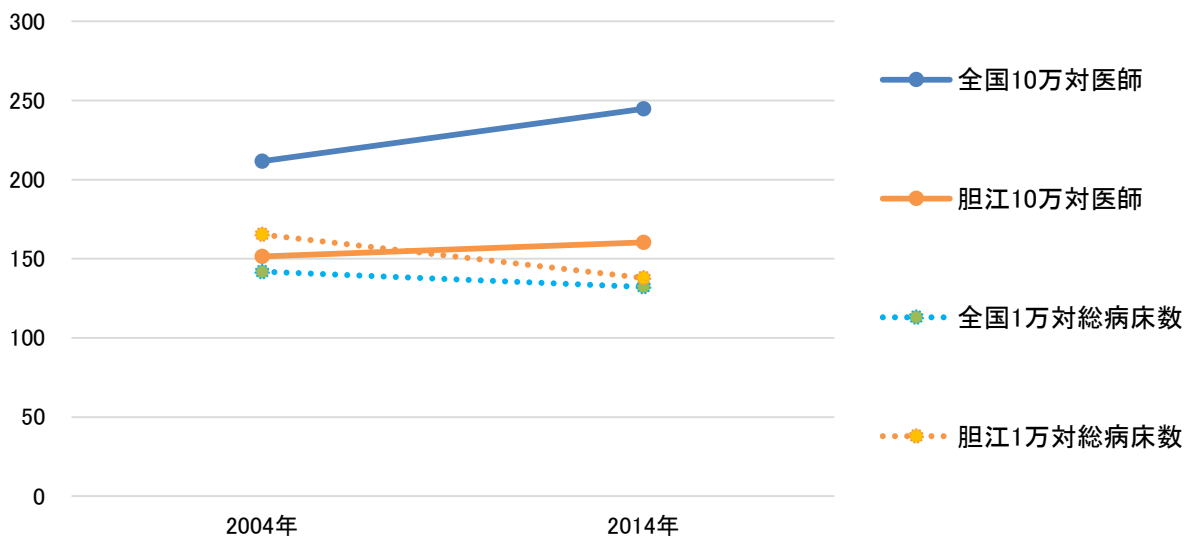
2004年の病院数が11(人口10万人当たり7.5病院(全国平均7.1)偏差値51)であったが、2014年に9(人口10万人当たり6.7病院(全国平均6.7)偏差値50)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が94(人口10万人当たり64診療所(全国平均76)偏差値44)であったが、2014年に98(人口10万人当たり72診療所(全国平均79)偏差値46)と、4診療所が増加した。

2004年の総病床数が2423床(人口1万人当たり165(全国平均142)偏差値54)であったが、2014年に1866床(人口1万人当たり138(全国平均132)偏差値51)と、557床の減少、率にして23%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

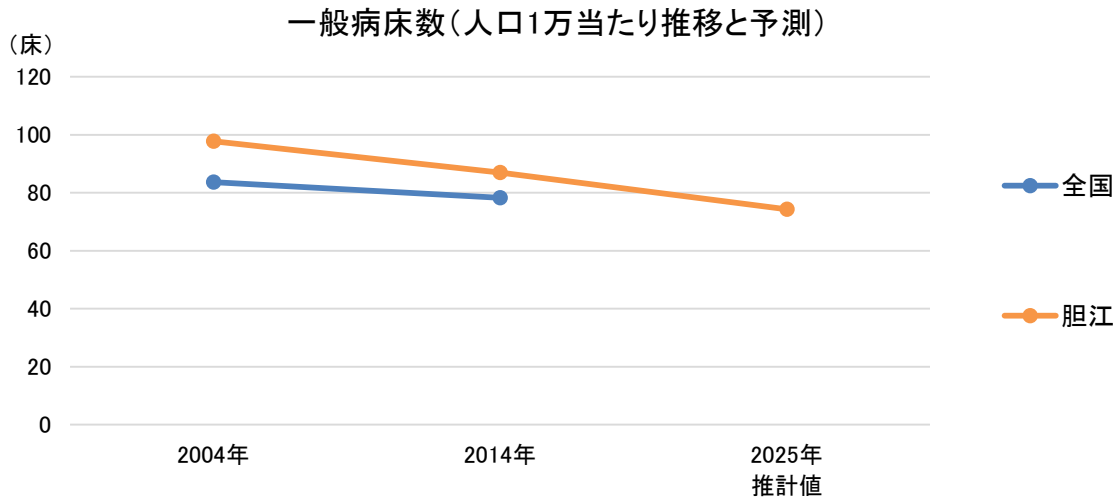
2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が222人(人口10万人当たり151人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に217人(人口10万人当たり160人(全国平均245人)偏差値41)と、5人の減少、率にして2%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



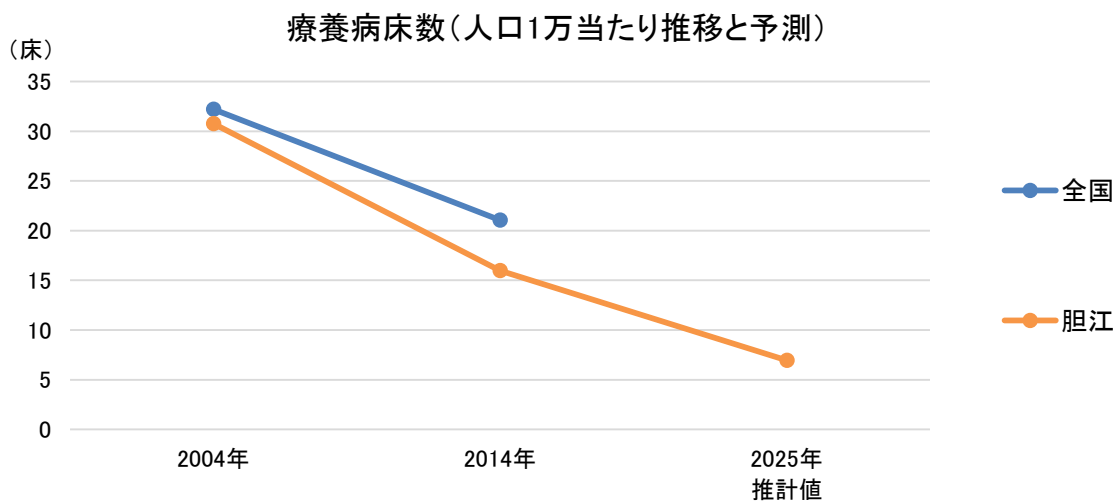
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1432床(人口1万人当たり98(全国平均84)偏差値55)であったが、2014年に1177床(人口1万人当たり87(全国平均78)偏差値53)と、255床の減少、率にして18%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には897床(2025年の推計人口1万人当たり74)になることが予想される。



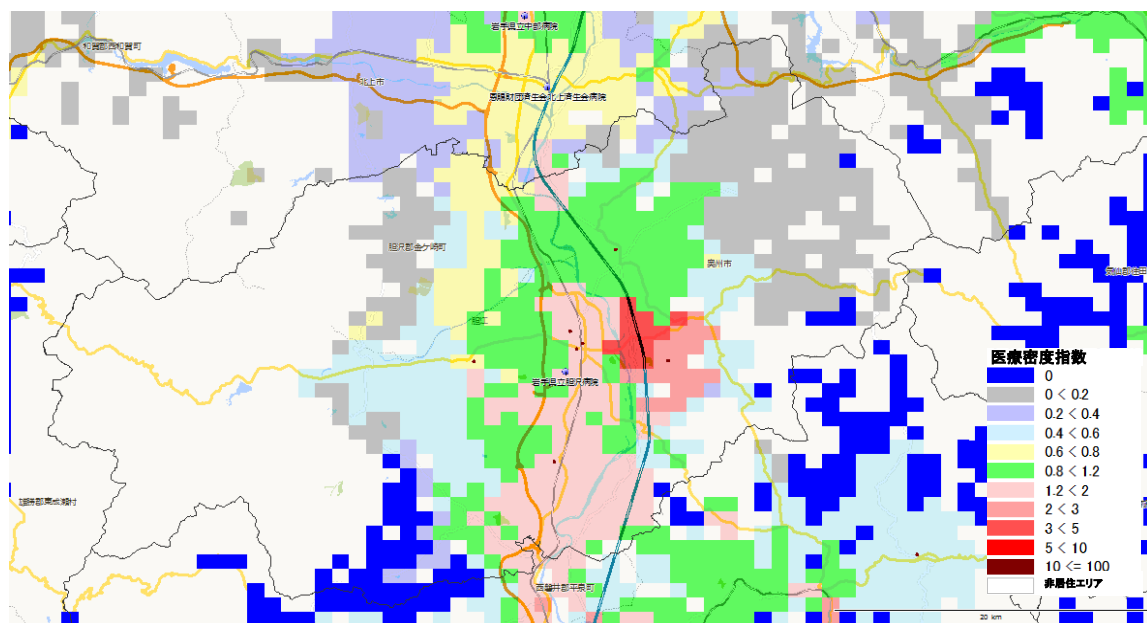
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が577床(75歳以上1000人当たり31(全国平均32)偏差値49)であったが、2014年に386床(75歳以上1000人当たり16(全国平均21)偏差値46)と、191床の減少、率にして33%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には176床(2025年の推計75歳以上1000人当たり7)になることが予想される。



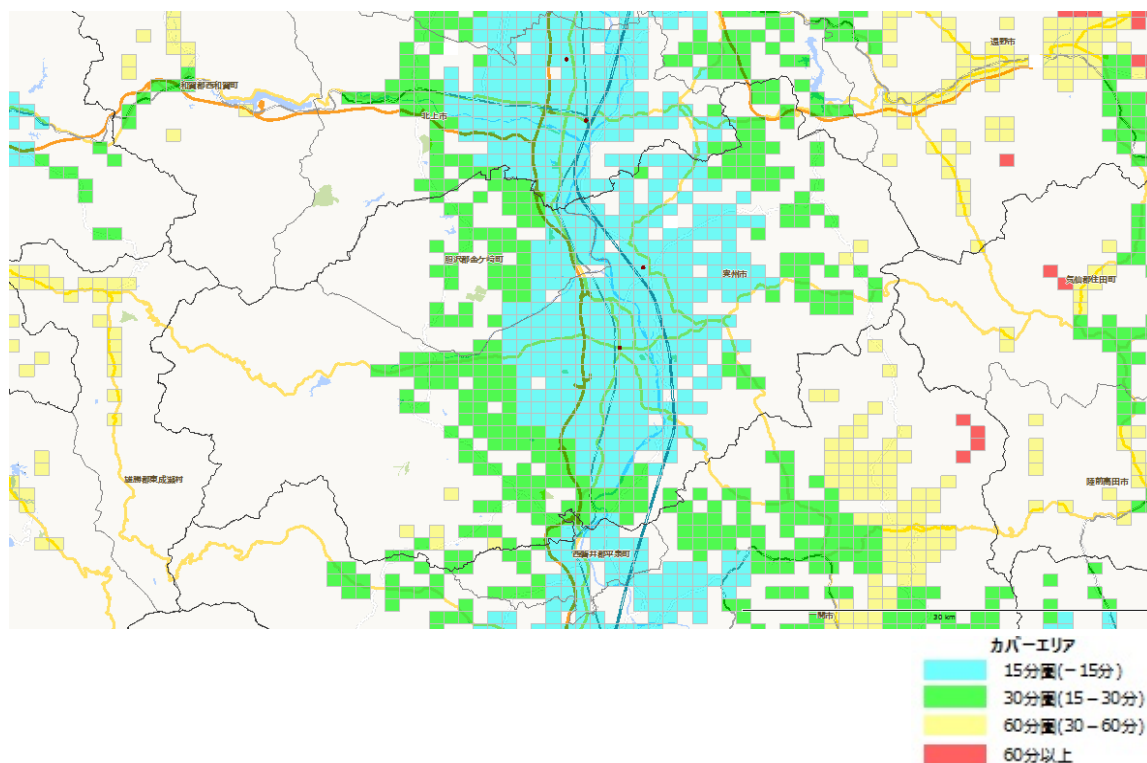
(胆江医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表3-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表3-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)

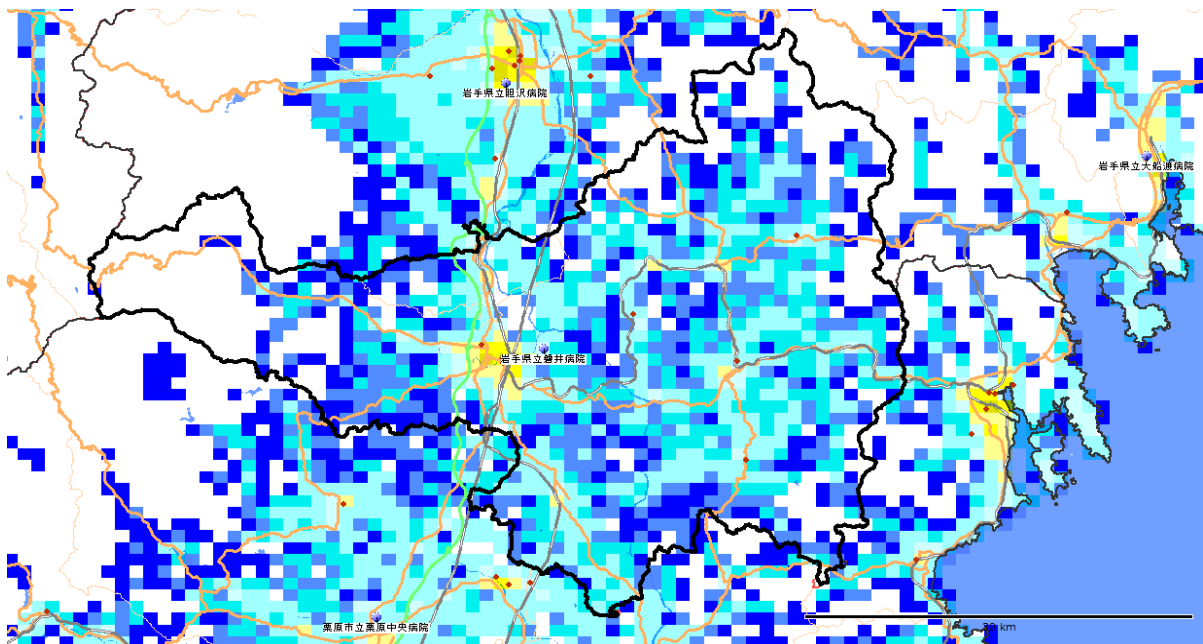




# 3-4. りょうばん 両磐医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [二関市](#) [平泉町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (両磐医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

\*人口、面積など： 両磐(一関市)は、総人口約129千人(2015年)、面積1320km<sup>2</sup>、人口密度は98人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 両磐の総人口は2025年に111千人へと減少し(2015年比-14%)、2040年に88千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の25千人が、2025年にかけて25千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には24千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 両磐の一人当たり医療費(国保)は331千円(偏差値47)、介護給付費は286千円(偏差値59)であり、医療費はやや低いが、介護給付費は高い。

### 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 両磐の一人当たり急性期医療密度指数2は1.07、一人当たり慢性期医療密度指数2は0.54で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数3の偏差値が41(病院医師数42、診療所医師数40)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は52と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は59で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。両磐には、年間全身麻酔件数が1000例以上の岩手県立磐井病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は40と療養病床数は少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値41と少なく、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は43で診療所数は少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 両磐の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2518人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1720床(偏差値57)、高齢者住宅等が798床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1993人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設58、特別養護老人ホーム57、介護療養型医療施設41、有料老人ホーム40、軽費ホーム62、グループホーム52、サ高住46である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値34と非常に少なく、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員(在宅)の合計は、248人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+9%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## (両磐医療圏) 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

両磐医療圏の総人口は、2005年144541人が、2015年に129451人と10%減少し、2025年の人口が111368人と予測され、2005年→2025年の間に23%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

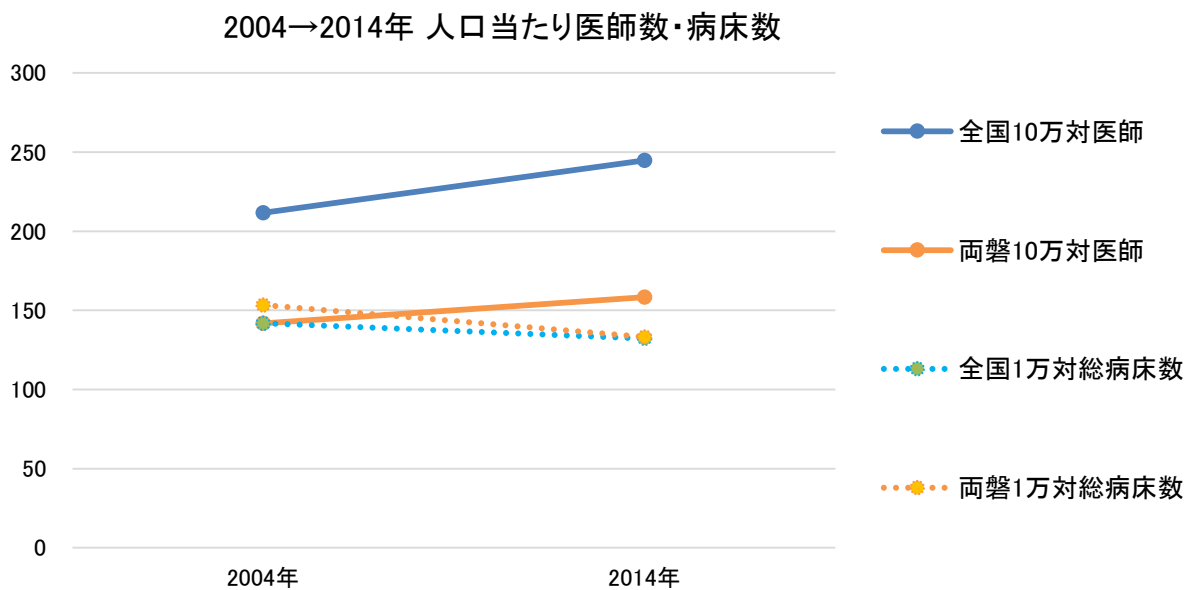
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が12(人口10万人当たり8.3病院(全国平均7.1)偏差値53)であったが、2014年に10(人口10万人当たり7.7病院(全国平均6.7)偏差値53)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が85(人口10万人当たり59診療所(全国平均76)偏差値41)であったが、2014年に87(人口10万人当たり67診療所(全国平均79)偏差値44)と、2診療所が増加した。

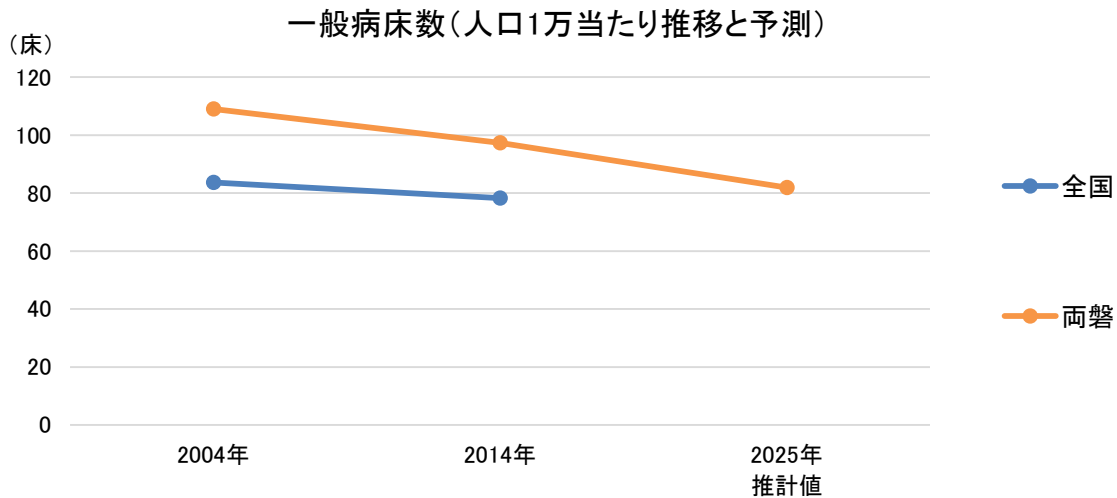
2004年の総病床数が2217床(人口1万人当たり153(全国平均142)偏差値52)であったが、2014年に1724床(人口1万人当たり133(全国平均132)偏差値50)と、493床の減少、率にして22%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が205人(人口10万人当たり142人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2014年に205人(人口10万人当たり158人(全国平均245人)偏差値41)と、増減がなかった(全国平均15%の増加)。



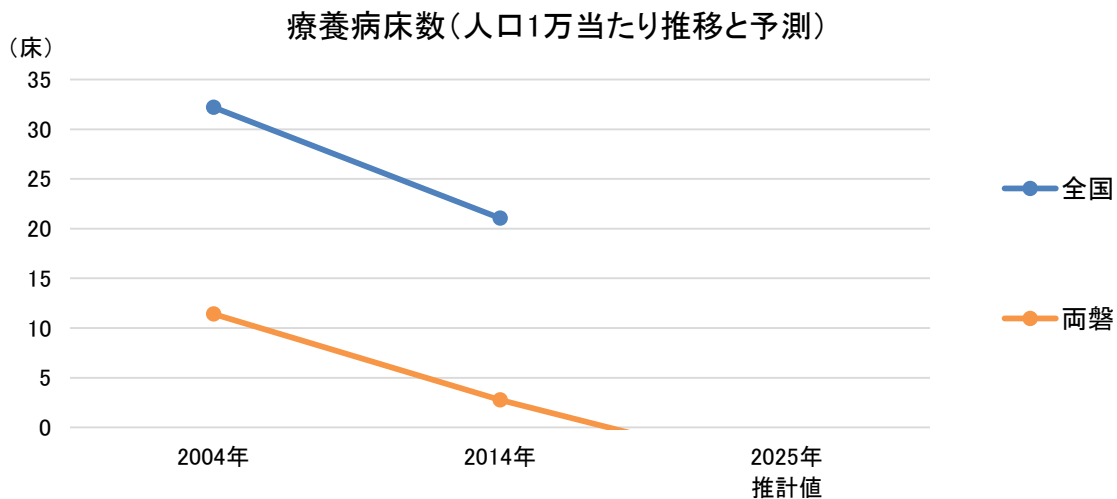
**【一般病床の推移と今後の予測】**

2004年の一般病床(病院+診療所)が1576床(人口1万人当たり109(全国平均84)偏差値59)であったが、2014年に1260床(人口1万人当たり97(全国平均78)偏差値57)と、316床の減少、率にして20%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には912床(2025年の推計人口1万人当たり82)になることが予想される。



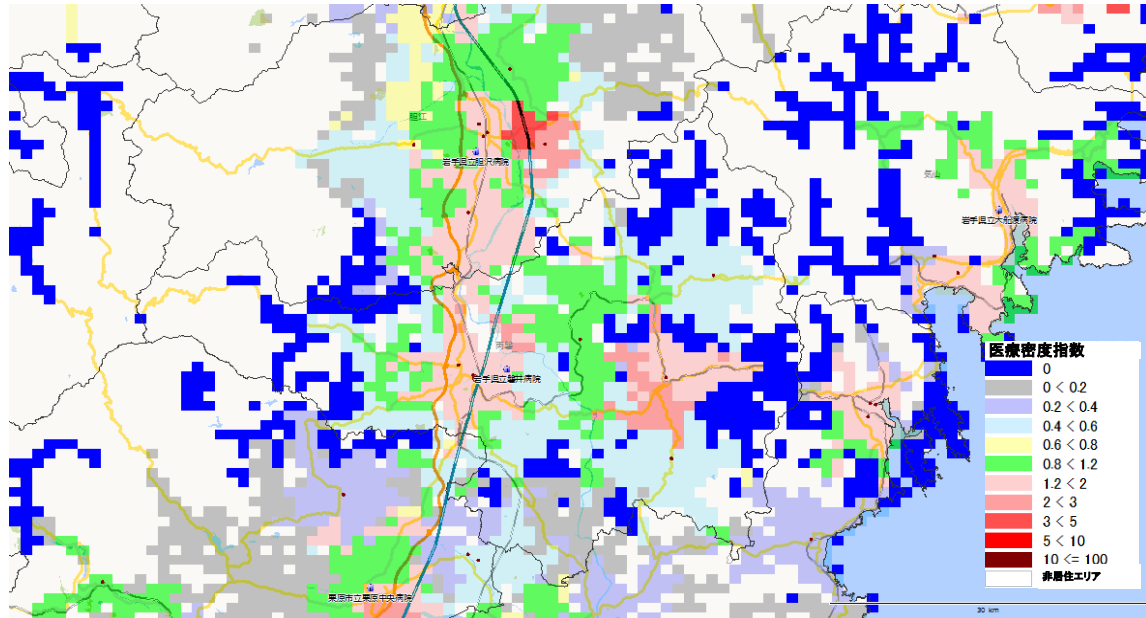
**【療養病床の推移と今後の予測】**

2004年の療養病床(病院+診療所)が233床(75歳以上1000人当たり11(全国平均32)偏差値38)であったが、2014年に68床(75歳以上1000人当たり3(全国平均21)偏差値34)と、165床の減少、率にして71%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には-114床(2025年の推計75歳以上1000人当たり-5)になることが予想される。



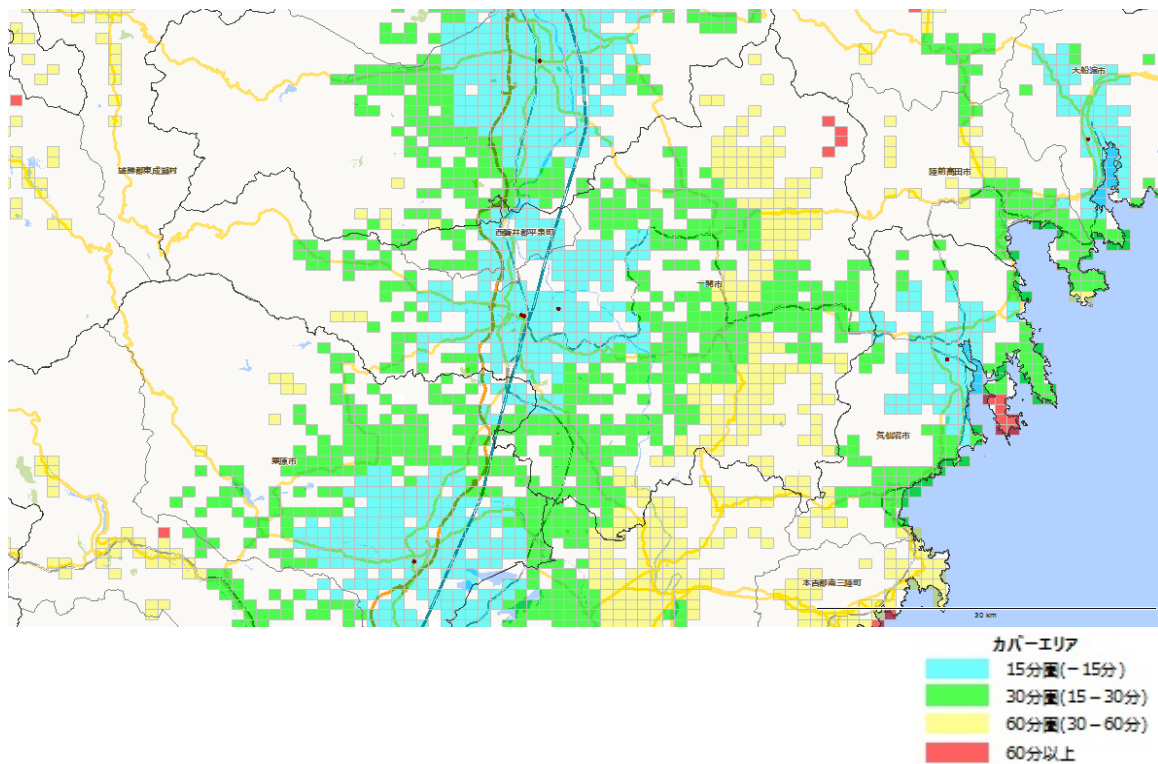
(両磐医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表3-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表3-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

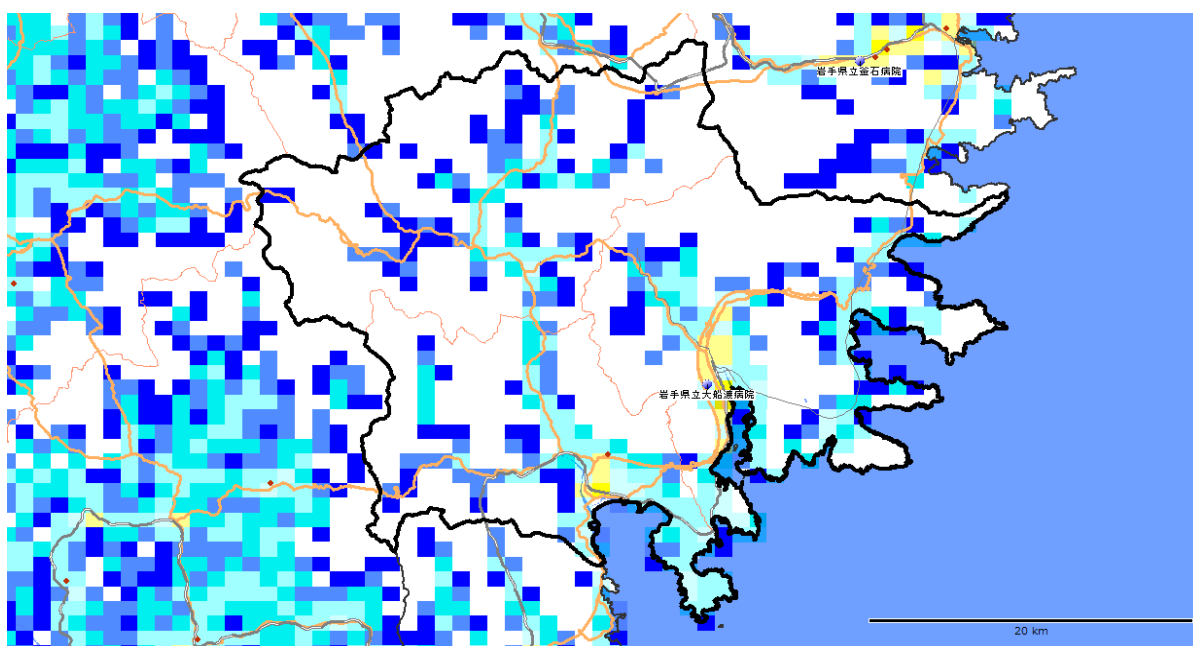
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



# 3-5. け せ ん 気仙医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [大船渡市](#) [陸前高田市](#) [住田町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



## (気仙医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 気仙(大船渡市)は、総人口約64千人(2015年)、面積889km<sup>2</sup>、人口密度は71人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 気仙の総人口は2025年に54千人へと減少し(2015年比-16%)、2040年に41千人へと減少する(2025年比-24%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の12千人が、2025年にかけて14千人へと増加し(2015年比+17%)、2040年には13千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 気仙の一人当たり医療費(国保)は379千円(偏差値58)、介護給付費は276千円(偏差値57)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 気仙の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.03、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.23で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が44(病院医師数44、診療所医師数45)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は48で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。気仙には、年間全身麻酔件数が500例以上の岩手県立大船渡病院(Ⅲ群・救命)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は42と療養病床数は少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値36と少なく、回復期病床数は0である。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 気仙の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、987人(75歳以上1000人当たりの偏差値36)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が868床(偏差値57)、高齢者住宅等が119床(偏差値29)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、843人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設59、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム43、サ高住32である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値34と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、119人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

**\*介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-18%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(気仙医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

気仙医療圏の総人口は、2005年74888人が、2015年に63536人と15%減少し、2025年の人口が54397人と予測され、2005年→2025年の間に27%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%減少し、2015年から2025年にかけて4%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

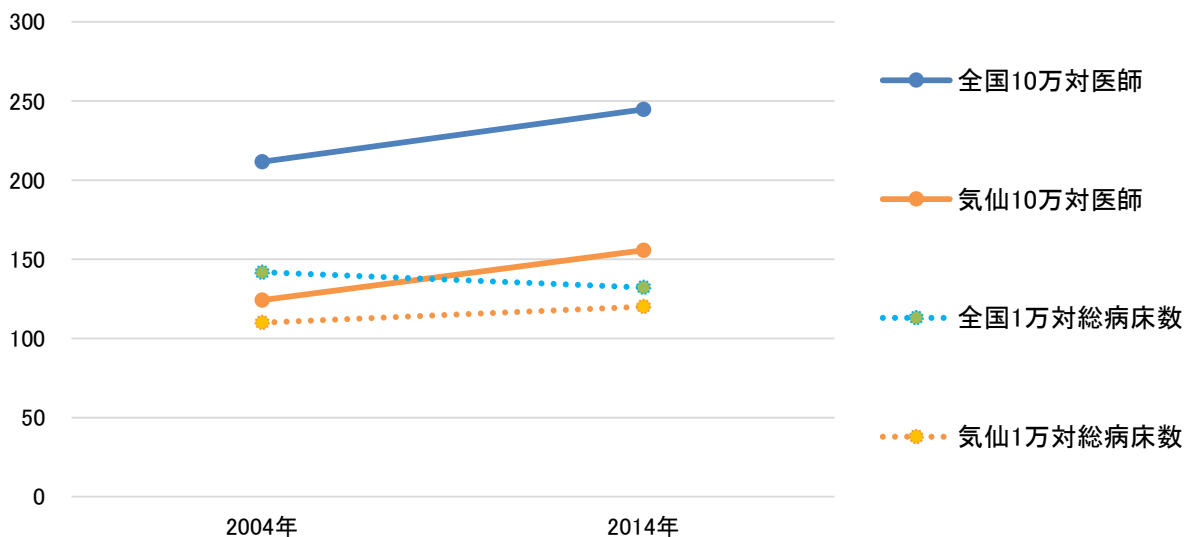
2004年の病院数が4(人口10万人当たり5.3病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2014年に3(人口10万人当たり4.7病院(全国平均6.7)偏差値45)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が44(人口10万人当たり59診療所(全国平均76)偏差値41)であったが、2014年に39(人口10万人当たり61診療所(全国平均79)偏差値41)と、5診療所が減少した。

2004年の総病床数が824床(人口1万人当たり110(全国平均142)偏差値44)であったが、2014年に763床(人口1万人当たり120(全国平均132)偏差値48)と、61床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が93人(人口10万人当たり124人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に99人(人口10万人当たり156人(全国平均245人)偏差値41)と、6人の増加、率にして6%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

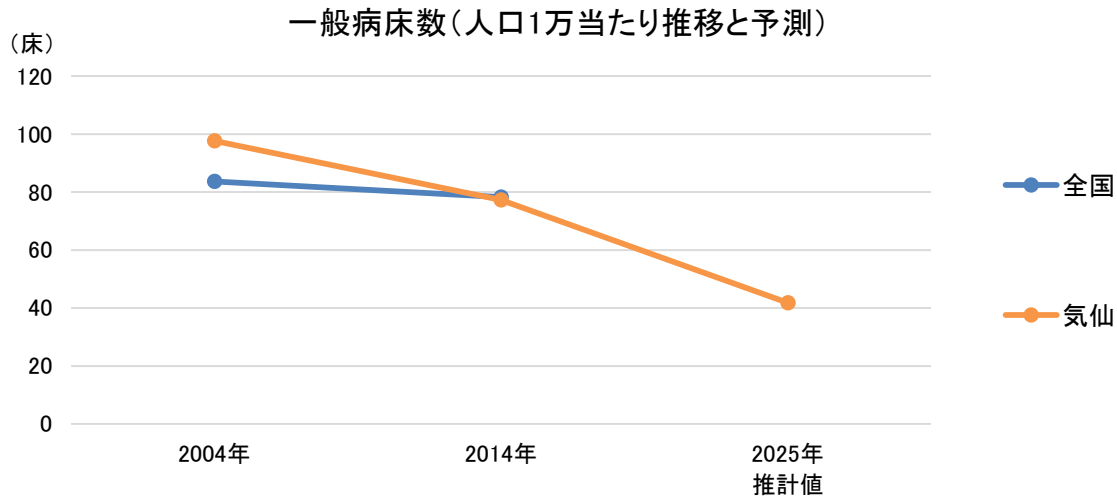
2004→2014年 人口当たり医師数・病床数





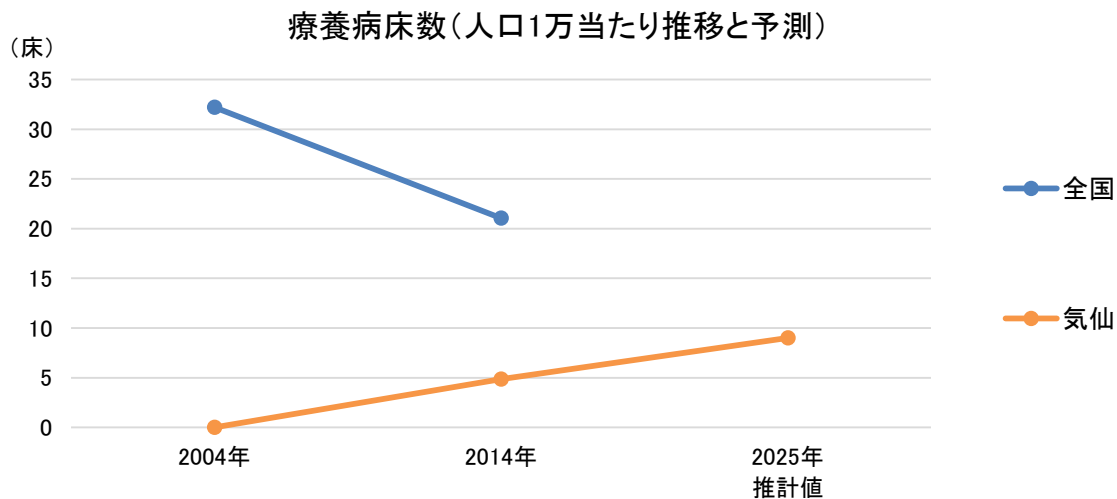
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が731床(人口1万人当たり98(全国平均84)偏差値55)であったが、2014年に491床(人口1万人当たり77(全国平均78)偏差値50)と、240床の減少、率にして33%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には227床(2025年の推計人口1万人当たり42)になることが予想される。



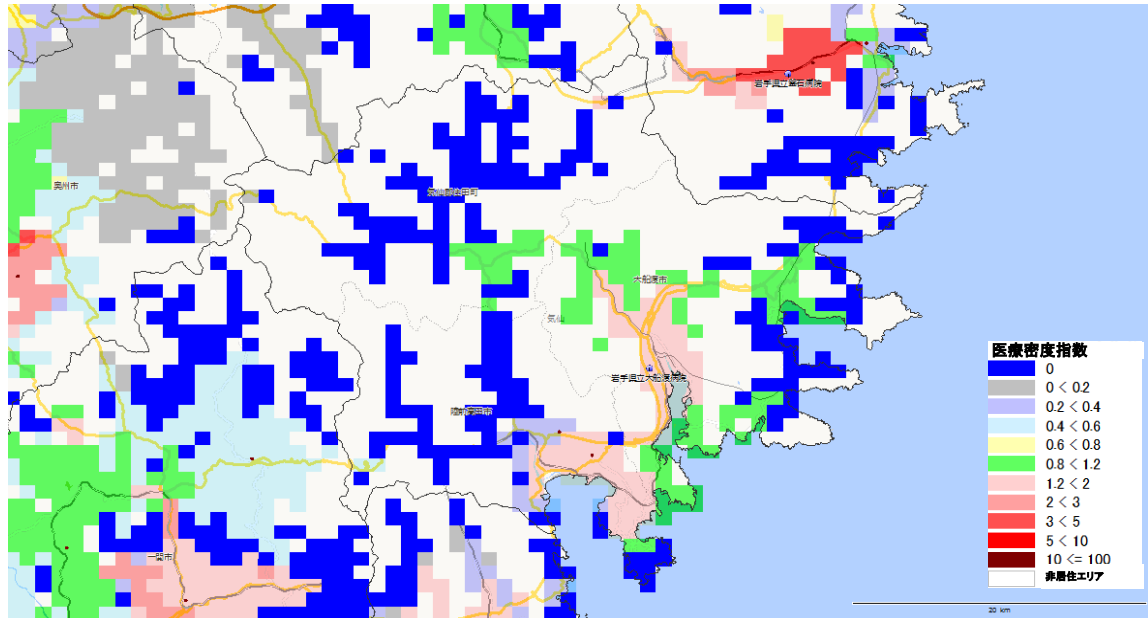
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が0床(75歳以上1000人当たり0(全国平均32)偏差値32)であったが、2014年に60床(75歳以上1000人当たり5(全国平均21)偏差値36)と、60床の増加、率にして100%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には126床(2025年の推計75歳以上1000人当たり9)になることが予想される。



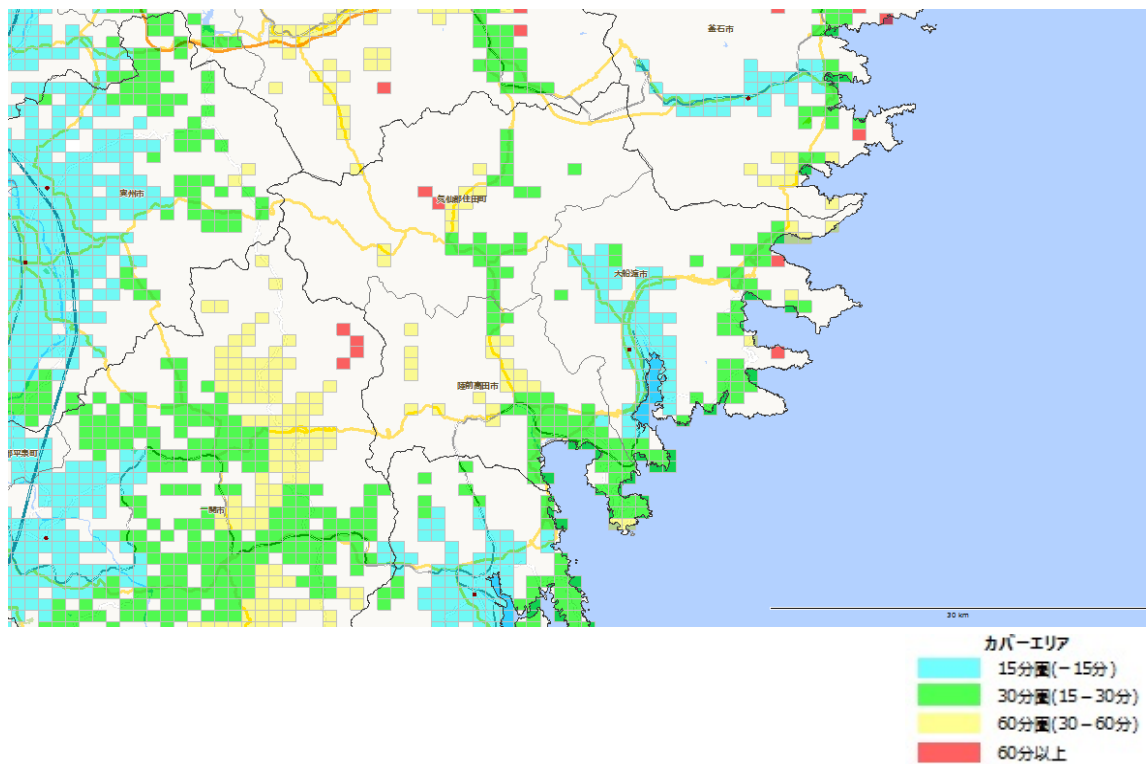
(気仙医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表3-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表3-5-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

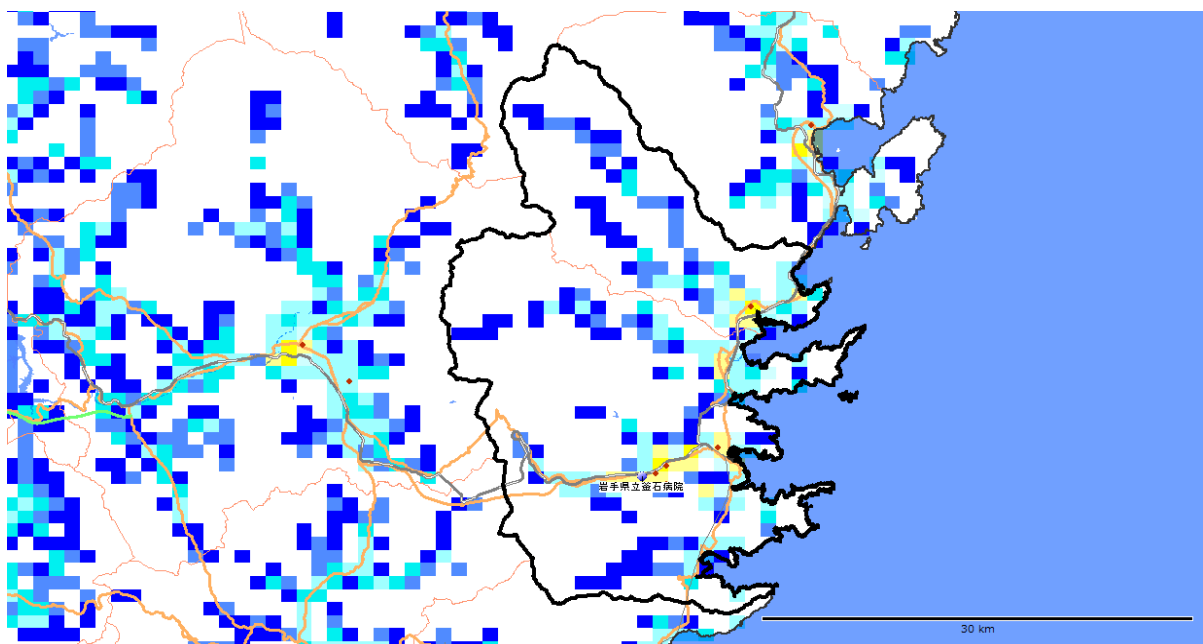
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



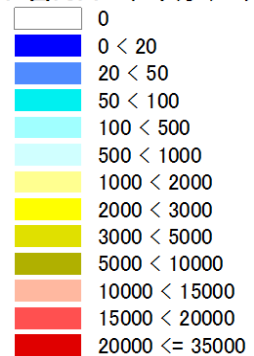
# 3-6. かまいし 釜石医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [釜石市](#) [大槌町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (釜石医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

\*人口、面積など： 釜石(釜石市)は、総人口約49千人(2015年)、面積641km<sup>2</sup>、人口密度は76人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 釜石の総人口は2025年に40千人へと減少し(2015年比-18%)、2040年に29千人へと減少する(2025年比-28%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の9千人が、2025年にかけて10千人へと増加し(2015年比+11%)、2040年には8千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 釜石の一人当たり医療費(国保)は434千円(偏差値71)、介護給付費は268千円(偏差値54)であり、医療費は非常に高く、介護給付費はやや高い。

### 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 釜石の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.73、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.75で、急性期の医療はかなり余裕があるが、慢性期の医療は少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が40(病院医師数42、診療所医師数39)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は56と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は76で、一般病床数は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。釜石には、年間全身麻酔件数が500例以上の岩手県立釜石病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は0である。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は39で診療所数は少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 釜石の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、767人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が668床(偏差値59)、高齢者住宅等が99床(偏差値30)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、721人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設65、特別養護老人ホーム57、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム48、サ高住なし(偏差値30)である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値41と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値40と少ない。介護職員(在宅)の合計は、89人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-7%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## (釜石医療圏) 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

釜石医療圏の総人口は、2005年59503人が、2015年に48561人と18%減少し、2025年の人口が40140人と予測され、2005年→2025年の間に33%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に10%減少し、2015年から2025年にかけて7%程度の減少が予測される。

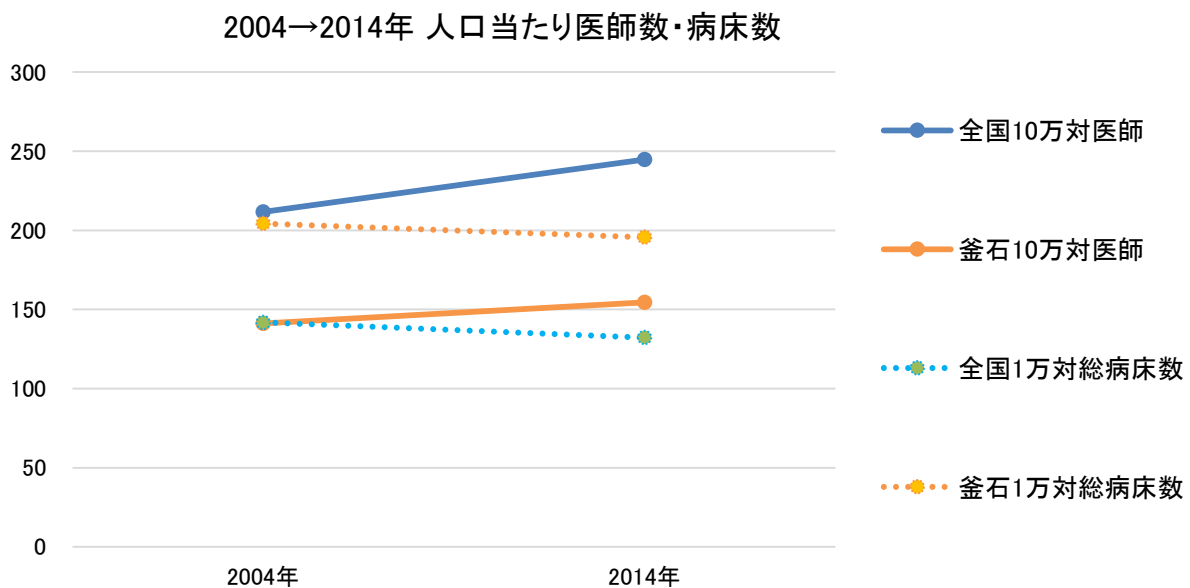
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が6(人口10万人当たり10.1病院(全国平均7.1)偏差値58)であったが、2014年に5(人口10万人当たり10.3病院(全国平均6.7)偏差値59)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が28(人口10万人当たり47診療所(全国平均76)偏差値36)であったが、2014年に27(人口10万人当たり56診療所(全国平均79)偏差値37)と、1診療所が減少した。

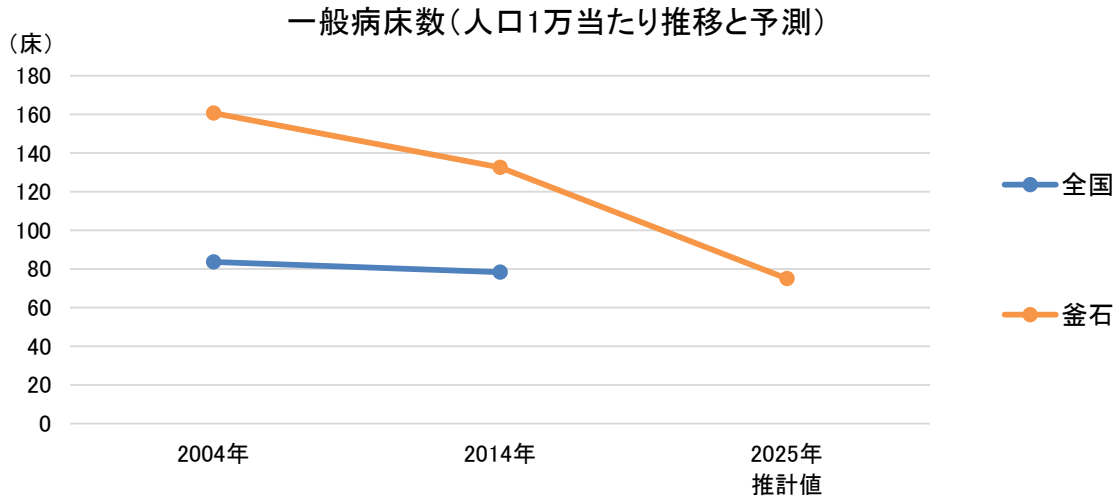
2004年の総病床数が1216床(人口1万人当たり204(全国平均142)偏差値61)であったが、2014年に950床(人口1万人当たり196(全国平均132)偏差値61)と、266床の減少、率にして22%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が84人(人口10万人当たり141人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2014年に75人(人口10万人当たり154人(全国平均245人)偏差値40)と、9人の減少、率にして11%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



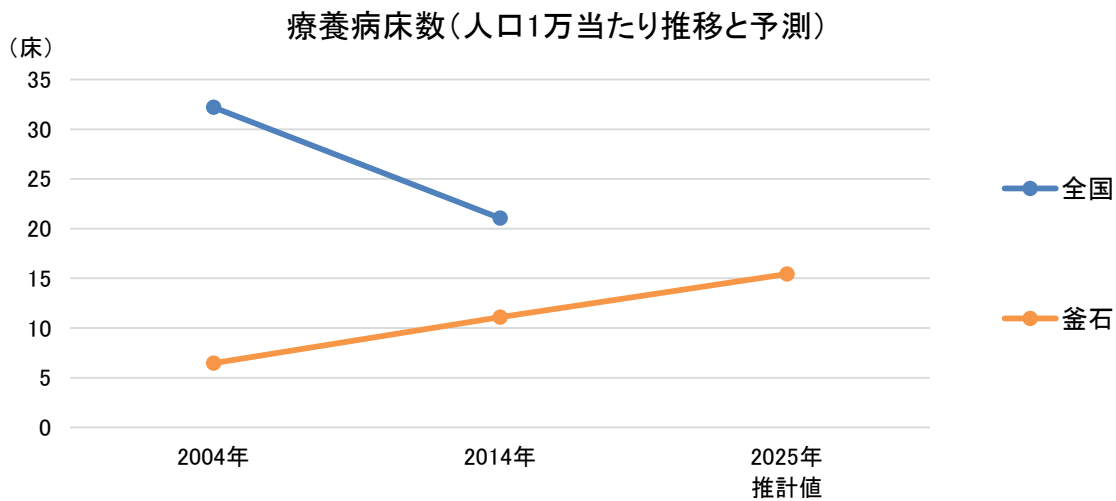
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が956床(人口1万人当たり161(全国平均84)偏差値77)であったが、2014年に644床(人口1万人当たり133(全国平均78)偏差値70)と、312床の減少、率にして33%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には301床(2025年の推計人口1万人当たり75)になることが予想される。



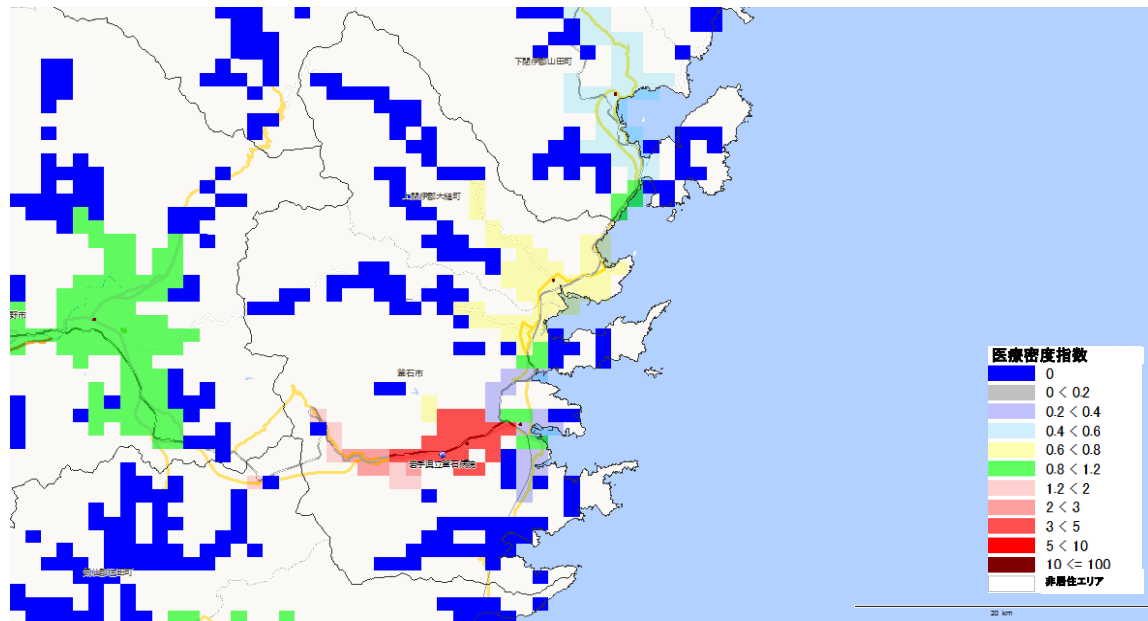
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が54床(75歳以上1000人当たり6(全国平均32)偏差値35)であったが、2014年に102床(75歳以上1000人当たり11(全国平均21)偏差値42)と、48床の増加、率にして89%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には155床(2025年の推計75歳以上1000人当たり15)になることが予想される。



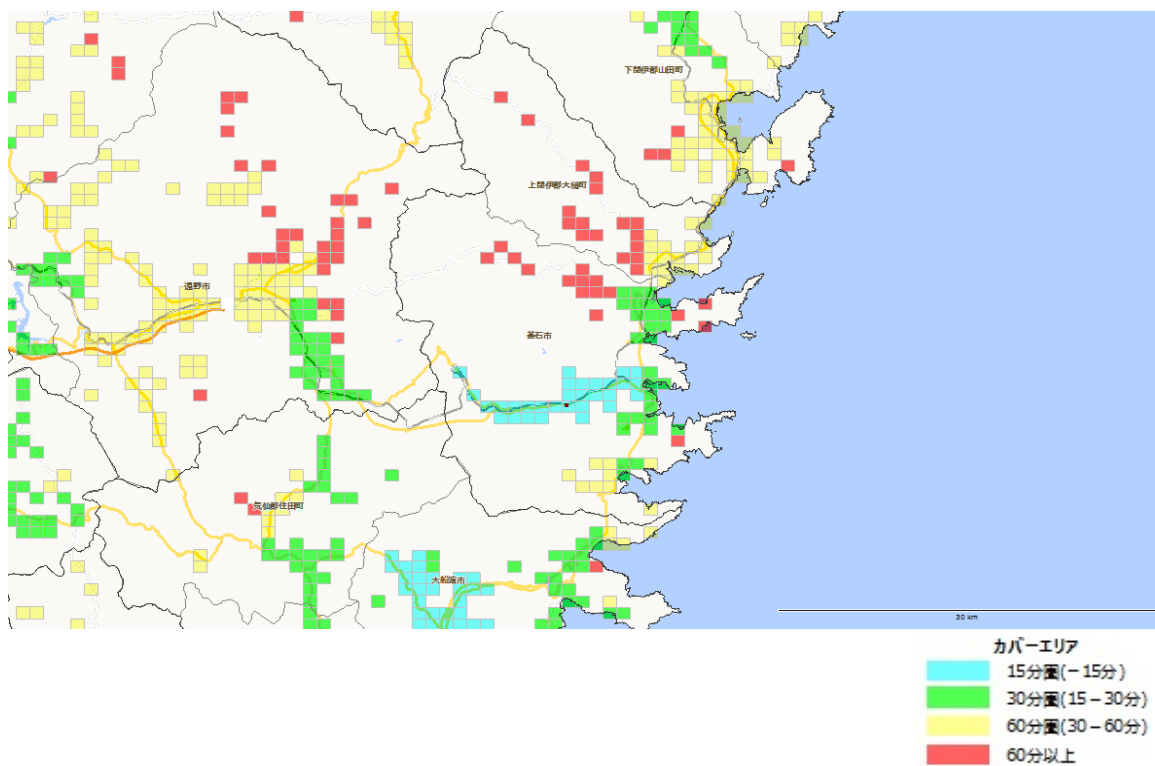
(釜石医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表3-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表3-6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

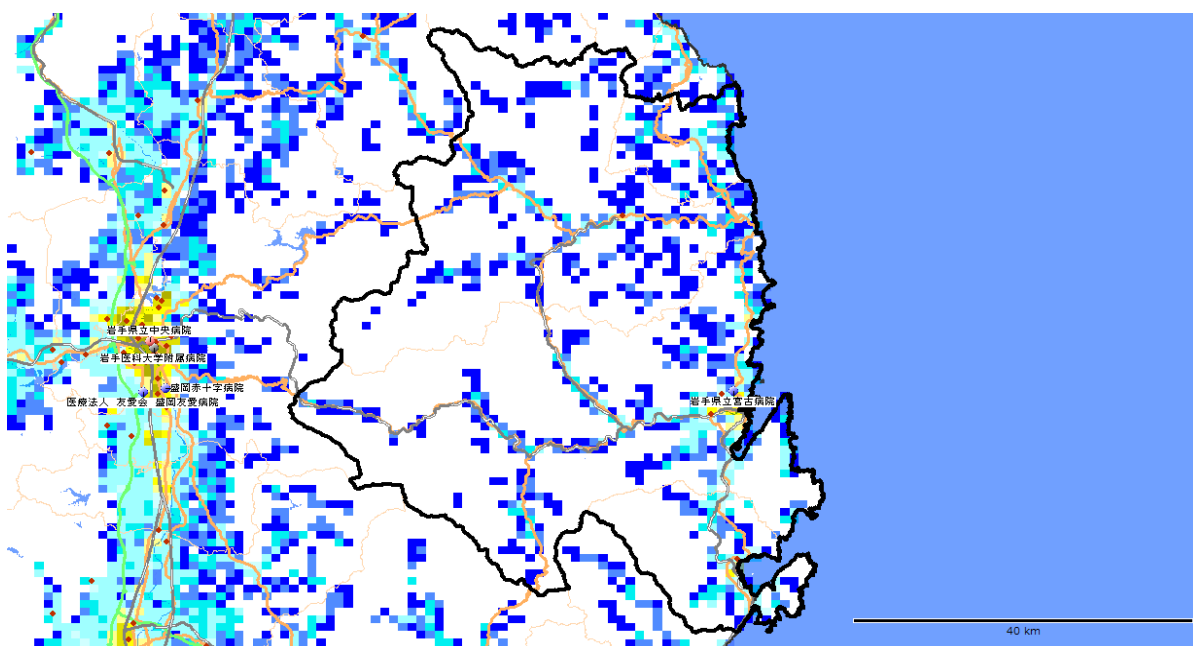
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



# 3-7. みやこ 宮古医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [宮古市](#) [山田町](#) [岩泉町](#) [田野畑村](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院





## (宮古医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 宮古(宮古市)は、総人口約86千人(2015年)、面積2671km<sup>2</sup>、人口密度は32人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 宮古の総人口は2025年に72千人へと減少し(2015年比-16%)、2040年に53千人へと減少する(2025年比-26%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の16千人が、2025年にかけて18千人へと増加し(2015年比+13%)、2040年には15千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 宮古の一人当たり医療費(国保)は392千円(偏差値61)、介護給付費は285千円(偏差値59)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 宮古の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.04で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が36(病院医師数37、診療所医師数36)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は41で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。宮古には、年間全身麻酔件数が500例以上の岩手県立宮古病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値48と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値57と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は69で精神病床数は非常に多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は38で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 宮古の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1215人(75歳以上1000人当たりの偏差値33)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が978床(偏差値49)、高齢者住宅等が237床(偏差値33)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1336人(75歳以上1000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホーム38、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム50、サ高住32である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値34と非常に少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、174人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-21%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(宮古医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

宮古医療圏の総人口は、2005年99885人が、2015年に85809人と14%減少し、2025年の人口が71507人と予測され、2005年→2025年の間に28%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%減少し、2015年から2025年にかけて7%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

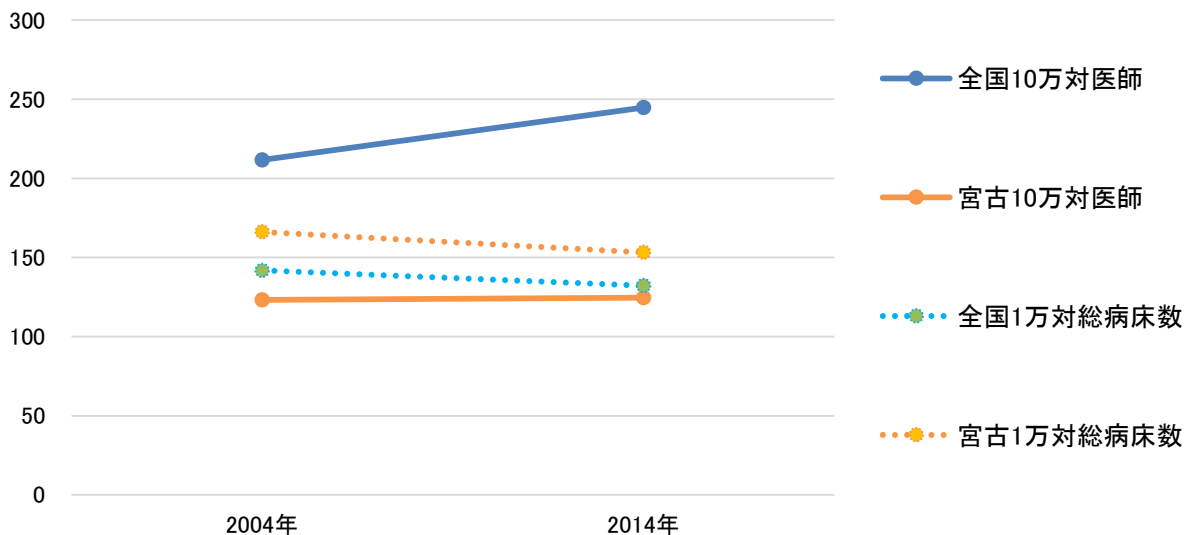
2004年の病院数が7(人口10万人当たり7病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2014年に5(人口10万人当たり5.8病院(全国平均6.7)偏差値48)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が54(人口10万人当たり54診療所(全国平均76)偏差値39)であったが、2014年に49(人口10万人当たり57診療所(全国平均79)偏差値38)と、5診療所が減少した。

2004年の総病床数が1660床(人口1万人当たり166(全国平均142)偏差値54)であったが、2014年に1315床(人口1万人当たり153(全国平均132)偏差値54)と、345床の減少、率にして21%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

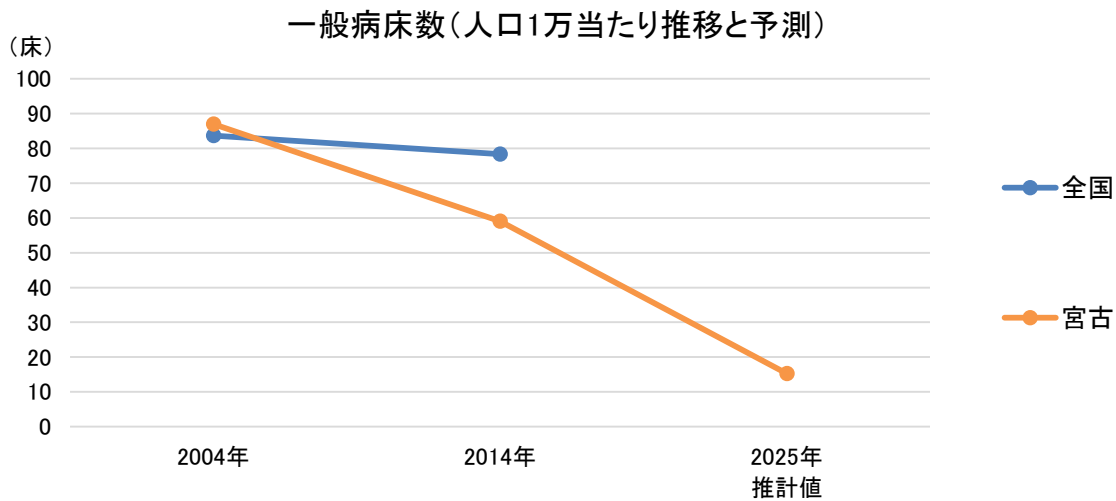
2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が123人(人口10万人当たり123人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2014年に107人(人口10万人当たり125人(全国平均245人)偏差値37)と、16人の減少、率にして13%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



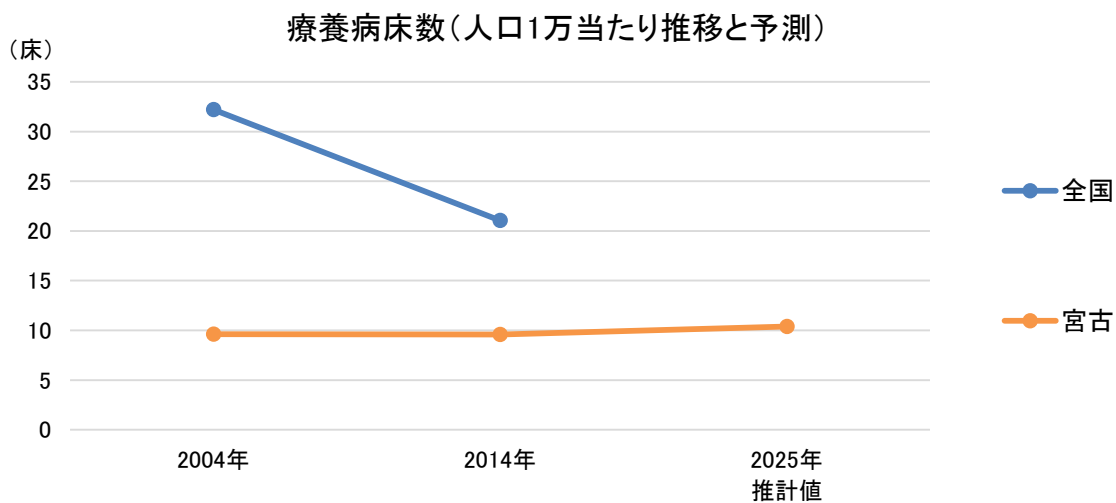
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が869床(人口1万人当たり87(全国平均84)偏差値51)であったが、2014年に507床(人口1万人当たり59(全国平均78)偏差値43)と、362床の減少、率にして42%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には109床(2025年の推計人口1万人当たり15)になることが予想される。



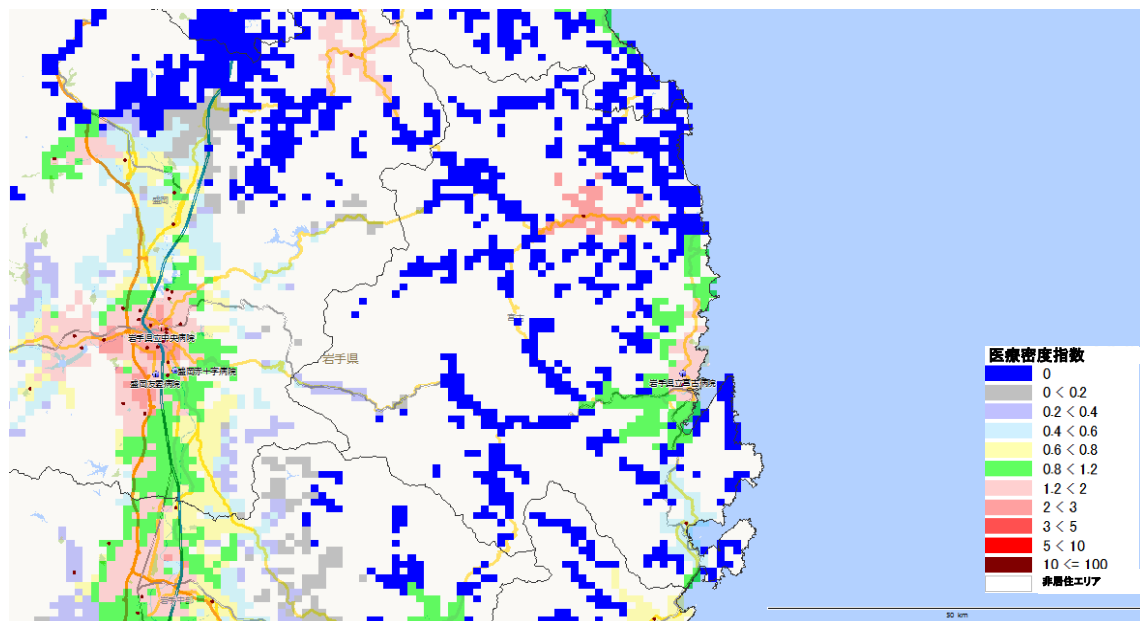
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が127床(75歳以上1000人当たり10(全国平均32)偏差値37)であったが、2014年に154床(75歳以上1000人当たり10(全国平均21)偏差値40)と、27床の増加、率にして21%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には184床(2025年の推計75歳以上1000人当たり10)になることが予想される。



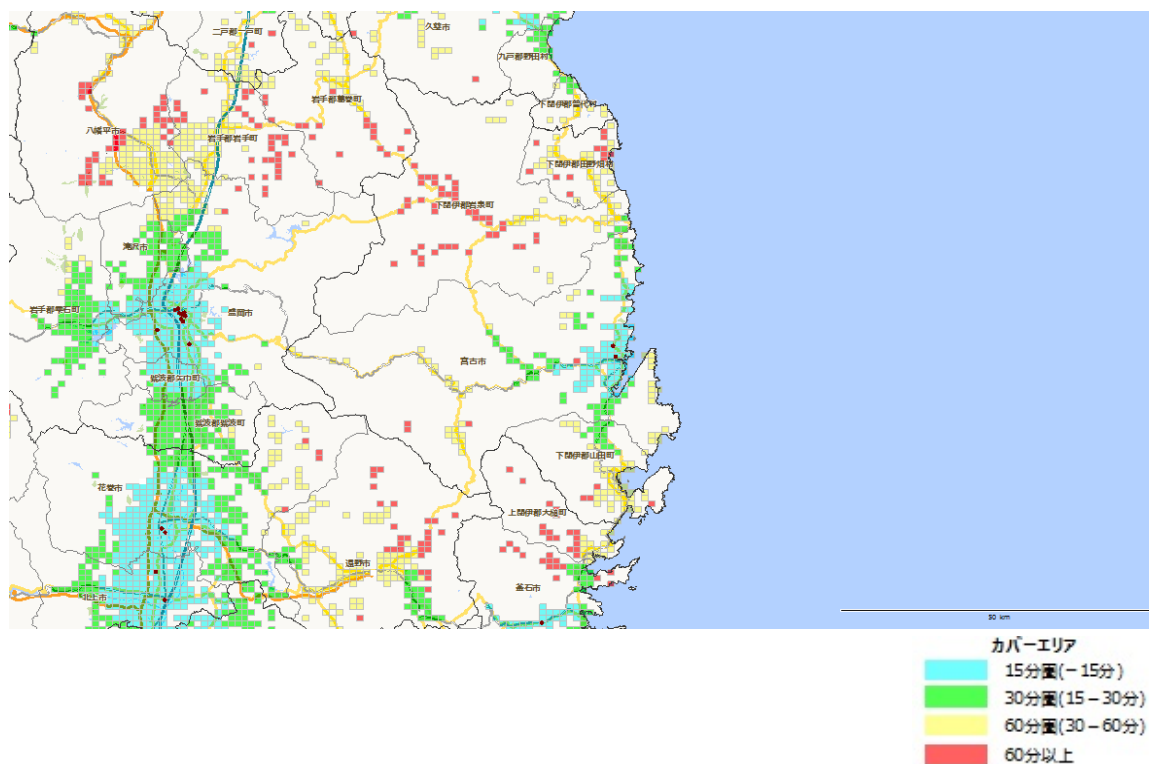
(宮古医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表3-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表3-7-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

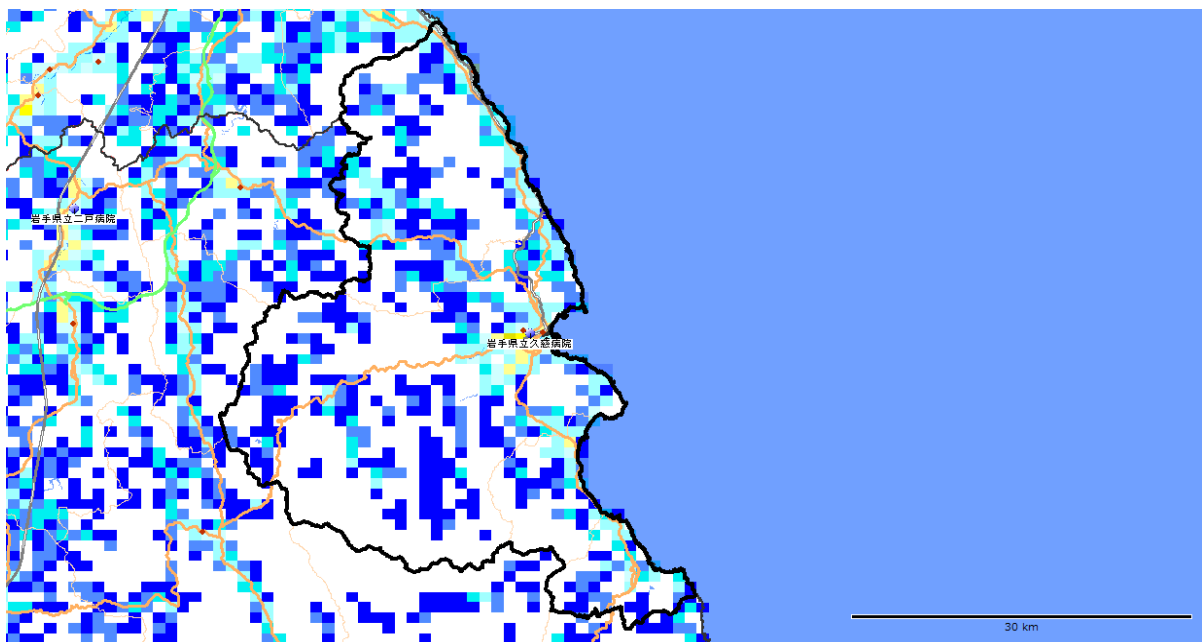
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



# 3-8. くじ久慈医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [久慈市](#)      [普代村](#)      [野田村](#)      [洋野町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (久慈医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

\*人口、面積など： 久慈(久慈市)は、総人口約59千人(2015年)、面積1077km<sup>2</sup>、人口密度は55人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 久慈の総人口は2025年に51千人へと減少し(2015年比-14%)、2040年に39千人へと減少する(2025年比-24%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の10千人が、2025年にかけて11千人へと増加し(2015年比+10%)、2040年には11千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 久慈の一人当たり医療費(国保)は328千円(偏差値46)、介護給付費は271千円(偏差値55)であり、医療費はやや低いが、介護給付費はやや高い。

### 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 久慈の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.58、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.41で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が38(病院医師数40、診療所医師数36)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は46とやや少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は47で、一般病床数はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。久慈には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値40と少なく、回復期病床数は偏差値53とやや多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は36で診療所数は少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 久慈の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1007人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が826床(偏差値64)、高齢者住宅等が181床(偏差値34)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、899人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設69、特別養護老人ホーム59、介護療養型医療施設45、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム48、サ高住39である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値33と非常に少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値23と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、74人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+4%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## (久慈医療圏) 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

久慈医療圏の総人口は、2005年67042人が、2015年に59279人と12%減少し、2025年の人口が50510人と予測され、2005年→2025年の間に25%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に2%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の減少が予測される。

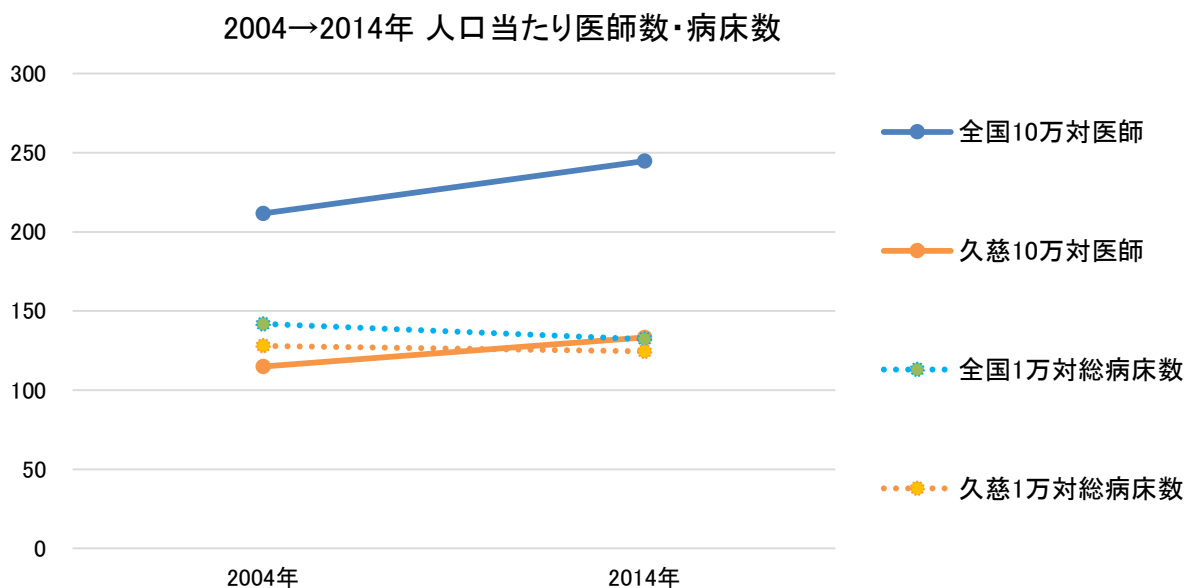
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が4(人口10万人当たり6病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2014年に4(人口10万人当たり6.7病院(全国平均6.7)偏差値50)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が29(人口10万人当たり43診療所(全国平均76)偏差値34)であったが、2014年に31(人口10万人当たり52診療所(全国平均79)偏差値36)と、2診療所が増加した。

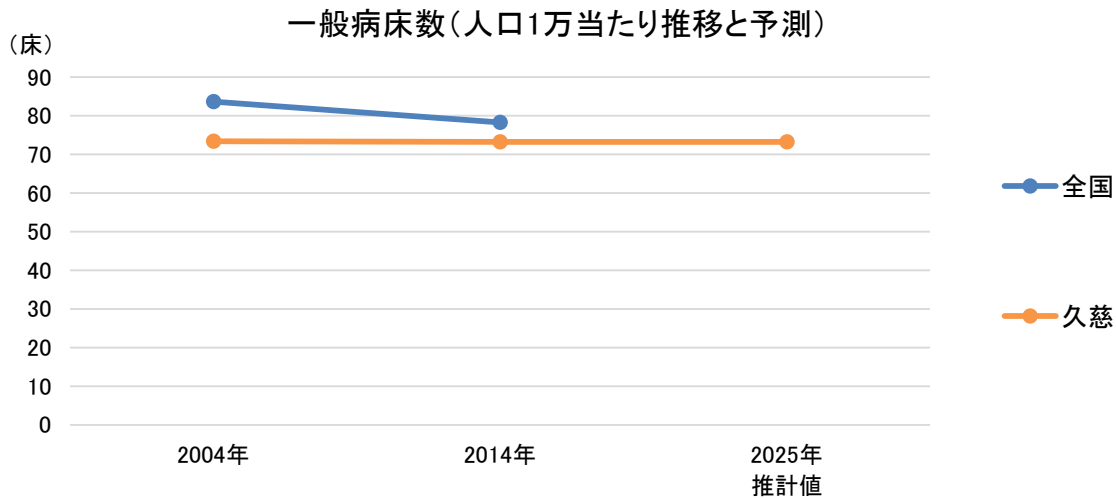
2004年の総病床数が858床(人口1万人当たり128(全国平均142)偏差値48)であったが、2014年に738床(人口1万人当たり124(全国平均132)偏差値49)と、120床の減少、率にして14%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が77人(人口10万人当たり115人(全国平均212人)偏差値38)であったが、2014年に79人(人口10万人当たり133人(全国平均245人)偏差値38)と、2人の増加、率にして3%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



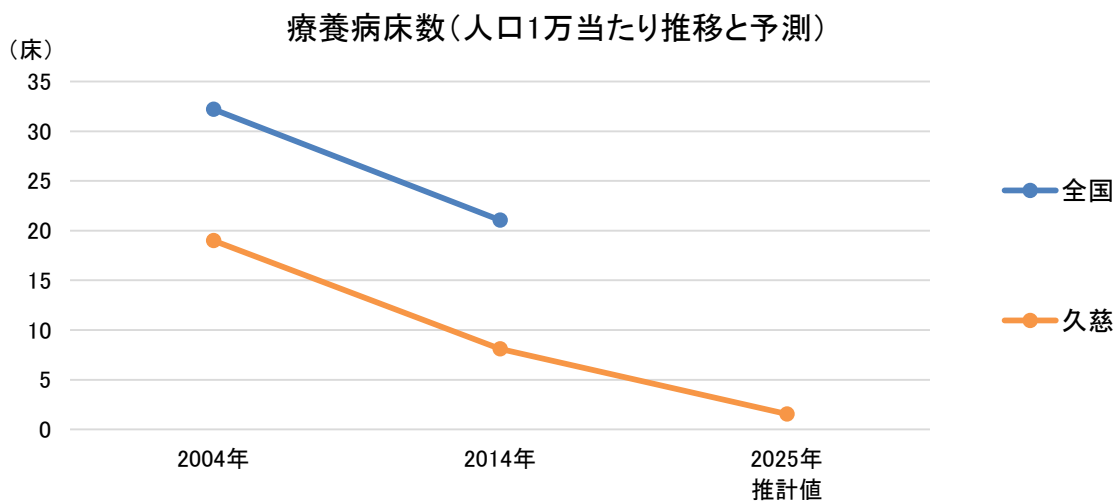
**【一般病床の推移と今後の予測】**

2004年の一般病床(病院+診療所)が492床(人口1万人当たり73(全国平均84)偏差値46)であったが、2014年に434床(人口1万人当たり73(全国平均78)偏差値48)と、58床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には370床(2025年の推計人口1万人当たり73)になることが予想される。



**【療養病床の推移と今後の予測】**

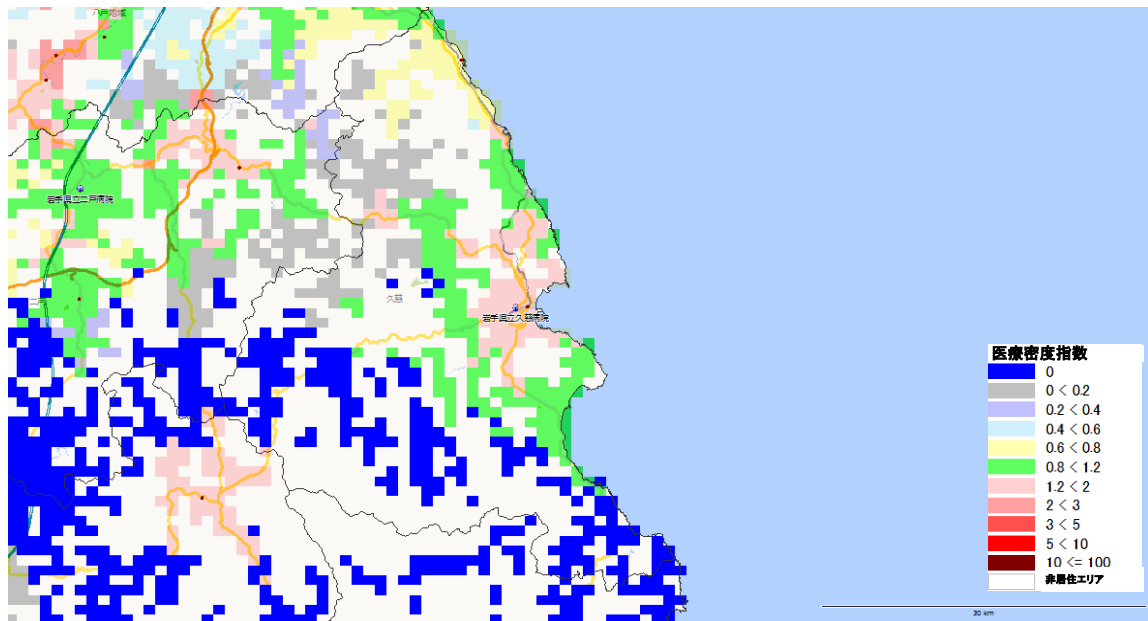
2004年の療養病床(病院+診療所)が147床(75歳以上1000人当たり19(全国平均32)偏差値43)であったが、2014年に85床(75歳以上1000人当たり8(全国平均21)偏差値39)と、62床の減少、率にして42%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には17床(2025年の推計75歳以上1000人当たり2)になることが予想される。





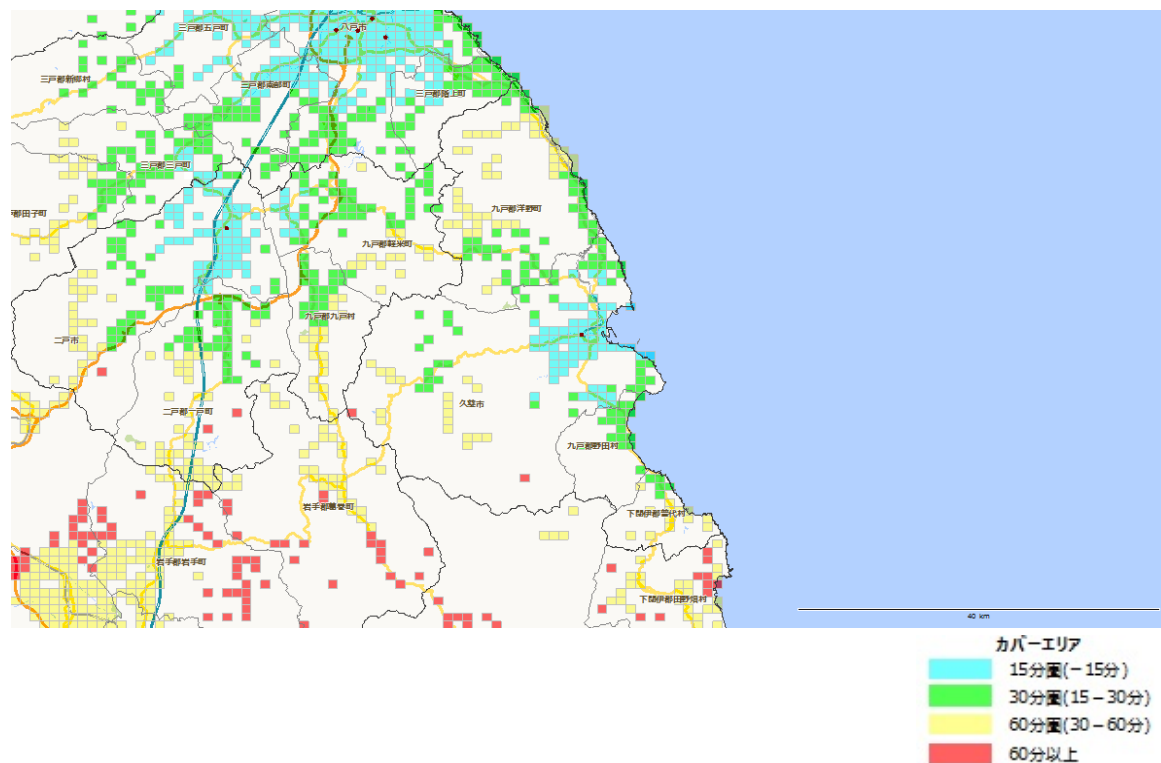
(久慈医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表3-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表3-8-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

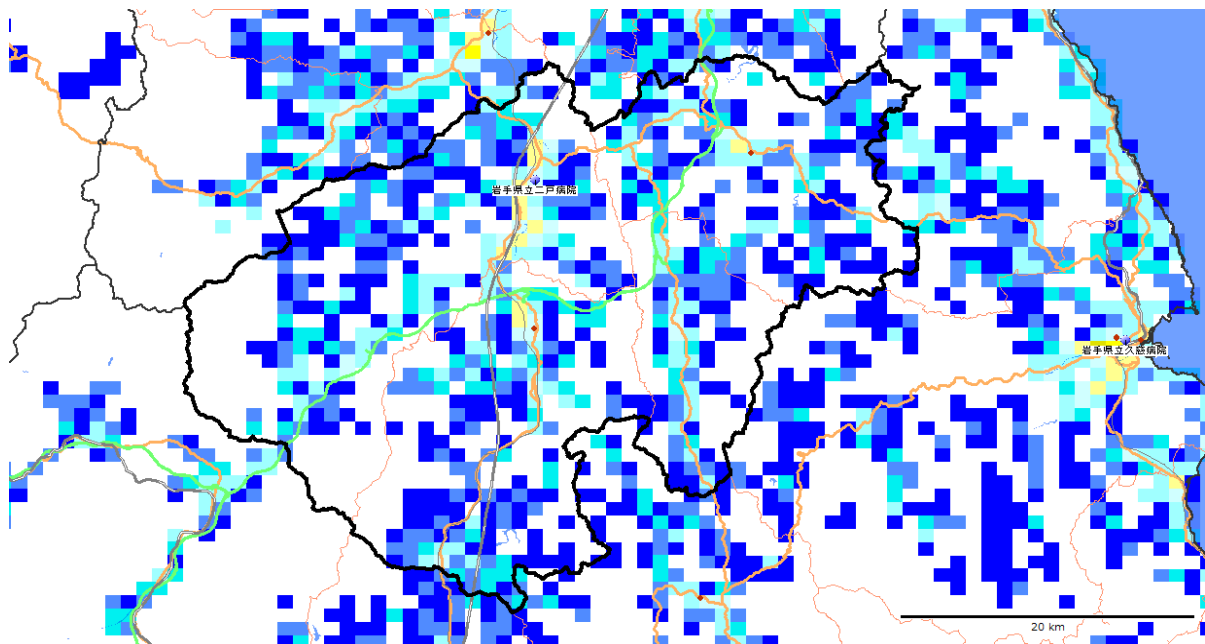
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



# 3-9. にのへ 二戸医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [二戸市](#)      [軽米町](#)      [九戸村](#)      [二戸町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (二戸医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 二戸(二戸市)は、総人口約56千人(2015年)、面積1100km<sup>2</sup>、人口密度は51人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 二戸の総人口は2025年に48千人へと減少し(2015年比-14%)、2040年に36千人へと減少する(2025年比-25%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の11千人が、2025年にかけて11千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には11千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 二戸の一人当たり医療費(国保)は320千円(偏差値45)、介護給付費は297千円(偏差値62)であり、医療費はやや低いが、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 二戸の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.94、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.39で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が41(病院医師数45、診療所医師数36)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は52と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は37と少ない。二戸には、年間全身麻酔件数が500例以上の岩手県立二戸病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値37と少なく、回復期病床数は0である。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は56で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 二戸の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1016人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が862床(偏差値63)、高齢者住宅等が154床(偏差値32)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、874人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム66、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホーム38、軽費ホーム73、グループホーム40、サ高住なし(偏差値30)である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は存在せず、在宅療養支援病院も存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値27と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、100人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+8%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(二戸医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

二戸医療圏の総人口は、2005年64997人が、2015年に55728人と14%減少し、2025年の人口が47769人と予測され、2005年→2025年の間に27%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%減少し、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

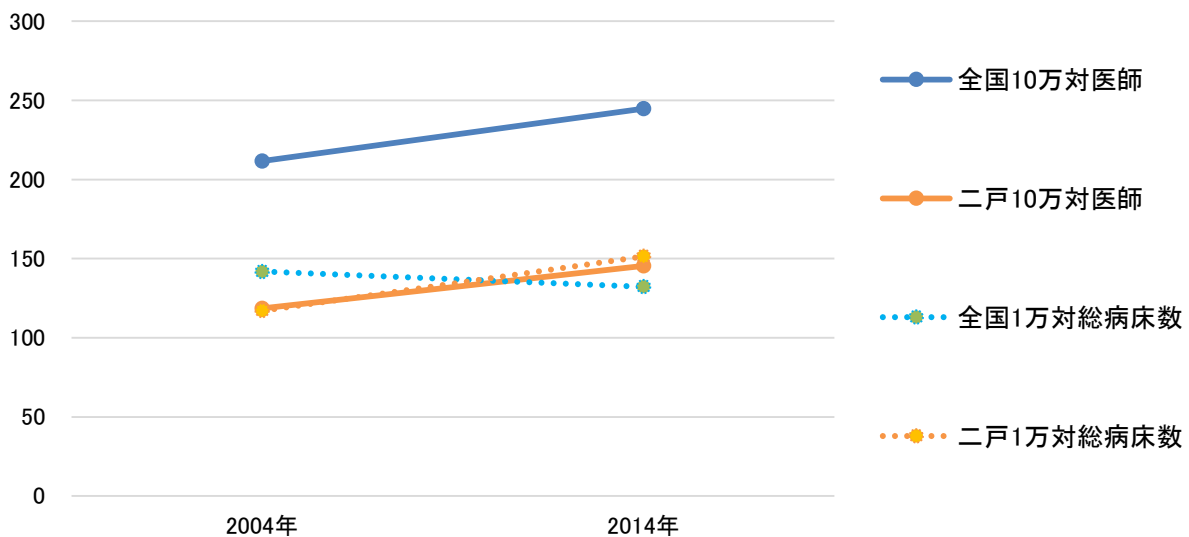
2004年の病院数が4(人口10万人当たり6.2病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2014年に3(人口10万人当たり5.4病院(全国平均6.7)偏差値47)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が30(人口10万人当たり46診療所(全国平均76)偏差値35)であったが、2014年に35(人口10万人当たり63診療所(全国平均79)偏差値41)と、5診療所が増加した。

2004年の総病床数が761床(人口1万人当たり117(全国平均142)偏差値46)であったが、2014年に844床(人口1万人当たり151(全国平均132)偏差値53)と、83床の増加、率にして11%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

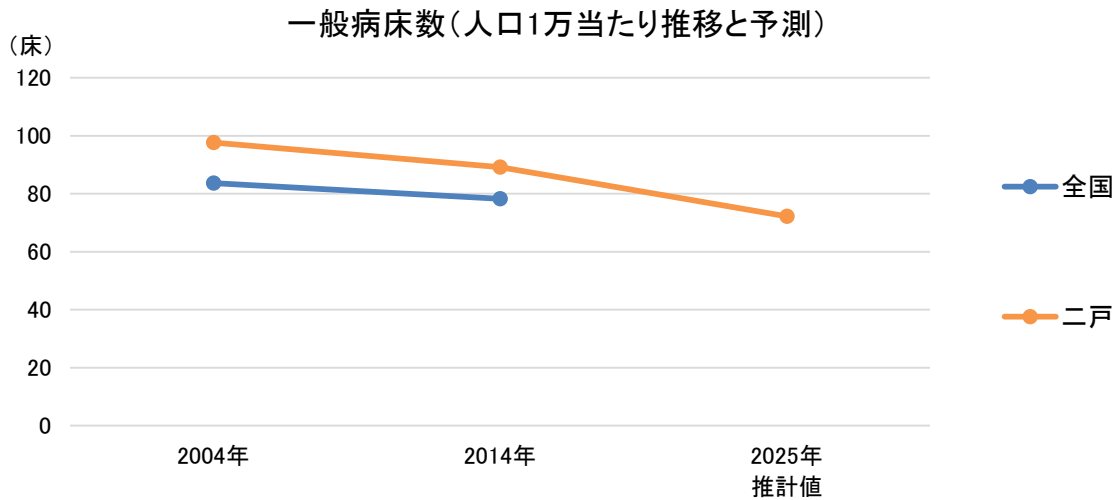
2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が77人(人口10万人当たり118人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2014年に81人(人口10万人当たり145人(全国平均245人)偏差値39)と、4人の増加、率にして5%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



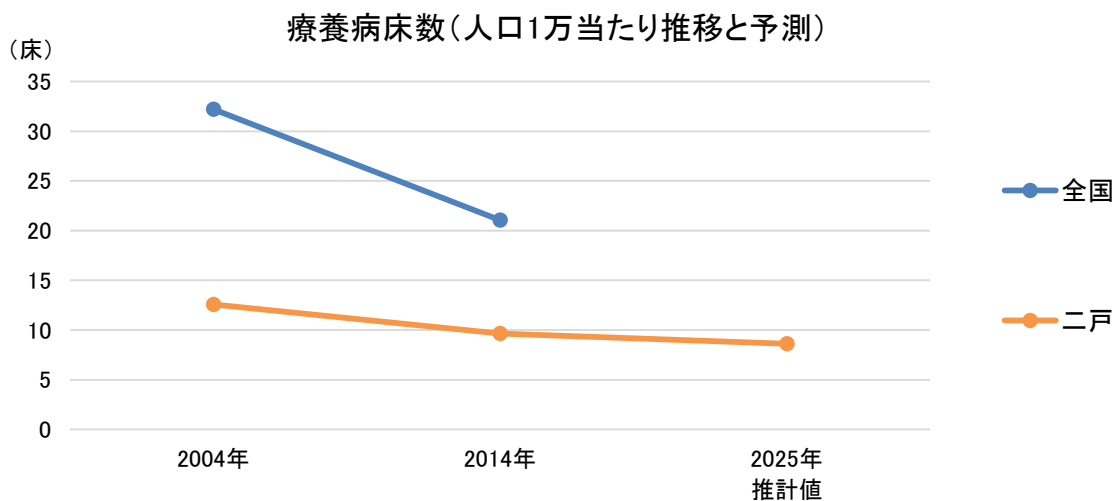
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が635床(人口1万人当たり98(全国平均84)偏差値55)であったが、2014年に497床(人口1万人当たり89(全国平均78)偏差値54)と、138床の減少、率にして22%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には345床(2025年の推計人口1万人当たり72)になることが予想される。



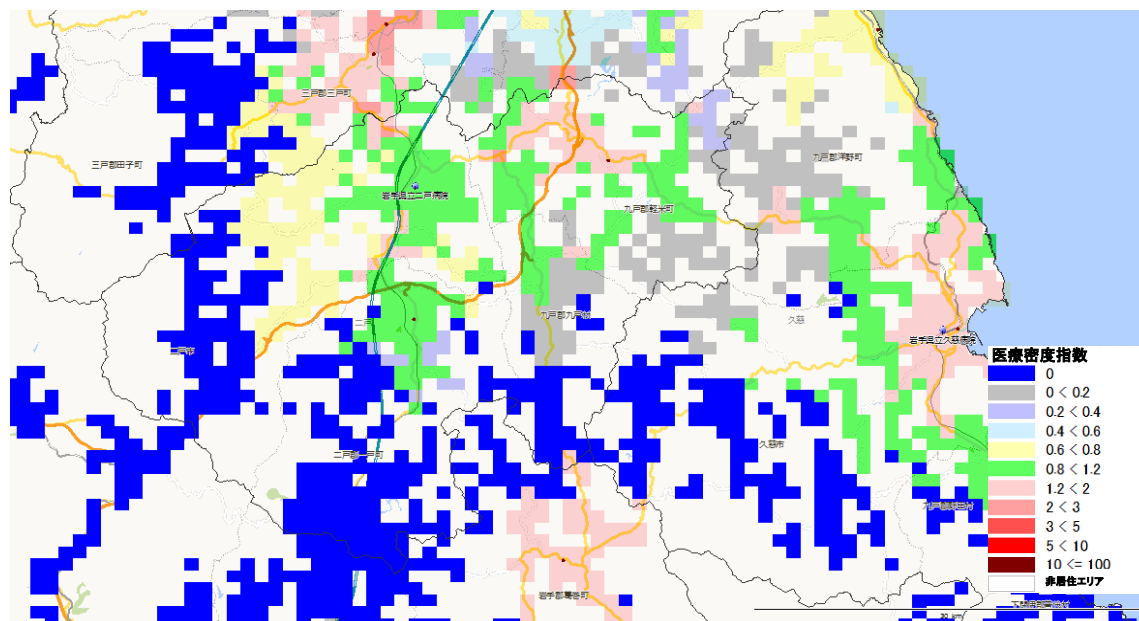
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が116床(75歳以上1000人当たり13(全国平均32)偏差値39)であったが、2014年に108床(75歳以上1000人当たり10(全国平均21)偏差値40)と、8床の減少、率にして7%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には99床(2025年の推計75歳以上1000人当たり9)になることが予想される。



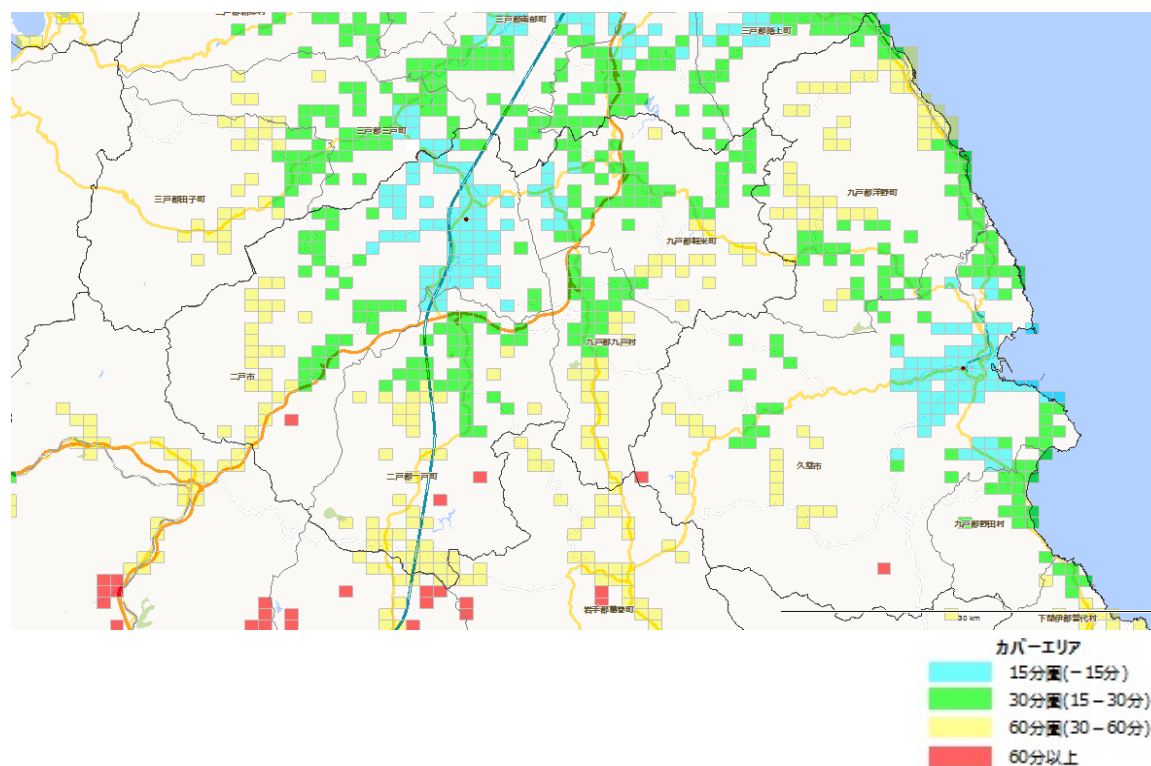
(二戸医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表3-9-1 急性期医療密度指数マップ



図表3-9-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



## 注

<sup>1</sup>1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

<sup>2</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

<sup>3</sup>【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成27年病院報告(厚生労働省 平成27年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

<sup>5</sup>急性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

<sup>6</sup>日医総研WP no.375「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集(2016年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

<sup>7</sup>医療費は市町村国民健康保険のみ。複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

複数医療圏にまたがる広域連合の介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

<sup>8</sup>医療需要は(0~64歳人口) + (65~74歳人口) × 3.1 + (75歳以上人口) × 5.0で算出。

<sup>9</sup>日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。